

IBM

@server

iSeries

43xx 磁気ディスク機構、
71xx システム装置拡張機構、
71xx 磁気ディスク拡張機構
インストールの手引き

バージョン 5





@server

iSeries

43xx 磁気ディスク機構、
71xx システム装置拡張機構、
71xx 磁気ディスク拡張機構
インストールの手引き

バージョン 5

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002


第 1 章 43xx または 71xx 磁気ディスク機構のインストール

このフィーチャーは、ユーザー自身でインストールすることができます。ハードウェアのインストールには、約 1 時間かかります。ユーザー自身でこのフィーチャーをインストールしない場合は、IBM® または IBM 特約店に有料でフィーチャーのインストールを依頼してください。

ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムの初期プログラム・ロード (IPL) を実行して、ハードウェア構成を検査するために時間がさらに必要になります。

本書を使用して、以下の作業を行うことができます。

- システム装置カバーを取り外す。
- 新しいハードウェアを取り付ける。
- カバーを取り付ける。
- オペレーティング・システムを初期プログラム・ロード (IPL) する。
- 新しいハードウェア構成を検査する。

注: 装置にインストール済みの磁気ディスク機構を除去または移動する場合は、バックアップおよび回復の手引き  を参照してください。

これらの説明中の図は、ご使用のシステム装置と少し異なる場合もあります。ただし、作業を実行する手順は同じです。

作業を始める前に、次のことを行います。

- 1. 使用しているシステム (オペレーティング・システム、ライセンス・プログラム、データなど) の最新バックアップが手元にあることを確認します。
- 2. 手順全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- 3. 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。
 - IBM 特約店
 - IBM 営業担当員
 - 1-800-300-8751 (米国およびカナダ)
 - 1-507-253-5242 (全世界共通)
- 4. インストール中に不都合が生じた場合は、認可されたサービス提供元または特約店に連絡してください。
- 5. 論理区画に新しいハードウェアをインストールする場合は、それを正常に行うための要件を計画および理解する必要があります。 *Information Center* の『論理区分』を参照してください。その後、ここの指示を参照してください。
- 6. 新しいフィーチャーをインストールする前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

<http://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/10000051>

- a. 「**All Documents**」を選択します。
- b. 「**Collapse**」を選択します。
- c. 「**General Information**」を選択します。
- d. 「**Offerings**」を選択します。
- e. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。
- f. 「**Customer Install Features Prerequisites**」を選択します。
- g. この製品のフィーチャー番号と OS/400® リリースを見つけて、前提条件を調べます。

インストールするフィーチャーのインストールに関する説明に進んでください。

- 3 ページの『第 2 章 43xx 磁気ディスク機構のインストール』
- 37 ページの『270 サーバーへの 7104 拡張機構の取り付けまたは 810 サーバーへの 7116 拡張機構の取り付け』
- 47 ページの『7123 または 7136 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け』
- 53 ページの『7124 または 7127 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け』

第 2 章 43xx 磁気ディスク機構のインストール


このフィーチャーは、ユーザー自身でインストールすることができます。ユーザー自身でこのフィーチャーをインストールしない場合は、IBM または IBM 特約店に有料でフィーチャーのインストールを依頼してください。

磁気ディスク機構を取り付ける際に、この装置の電源をオフにする (非並行) ことも、電源をオンにする (並行) こともできます。

- 1. 始める前に、電源オン (並行) 手順の複雑さを理解しておく必要があります (『取り付け時にシステムの電源がオンになっている場合』)。並行手順が使いにくい場合は、9 ページの『取り付け時にシステムの電源がオフになっている場合』に進んでください。
- 2. 磁気ディスク機構をどちらの方法で取り付けるか決定します (3 ページの『取り付け時にシステムの電源がオンになっている場合』、または 9 ページの『取り付け時にシステムの電源がオフになっている場合』)。

取り付け時にシステムの電源がオンになっている場合

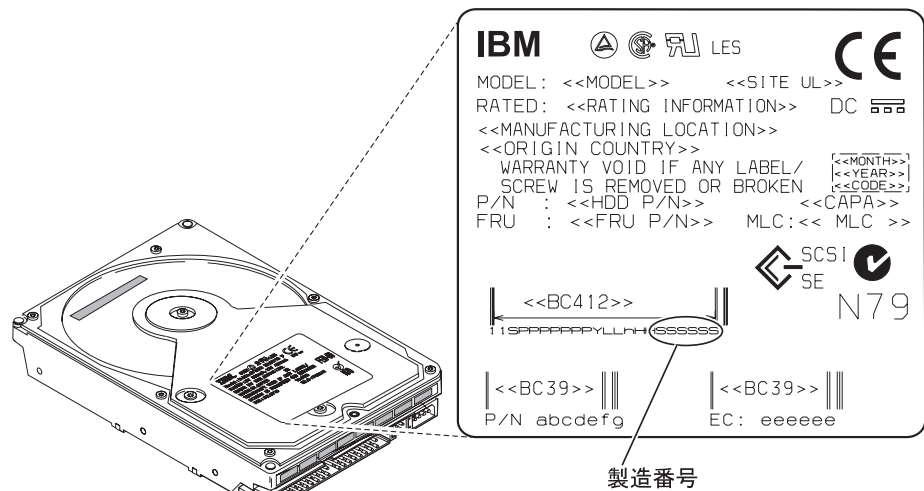
重要: ディスク機構は壊れやすいため、注意して取り扱ってください。

- 1. 装置の前面カバーを取り外すか、または開きます。19 ページの『前面カバーの開口と取り外し』を参照してください。
- 2. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。


注:

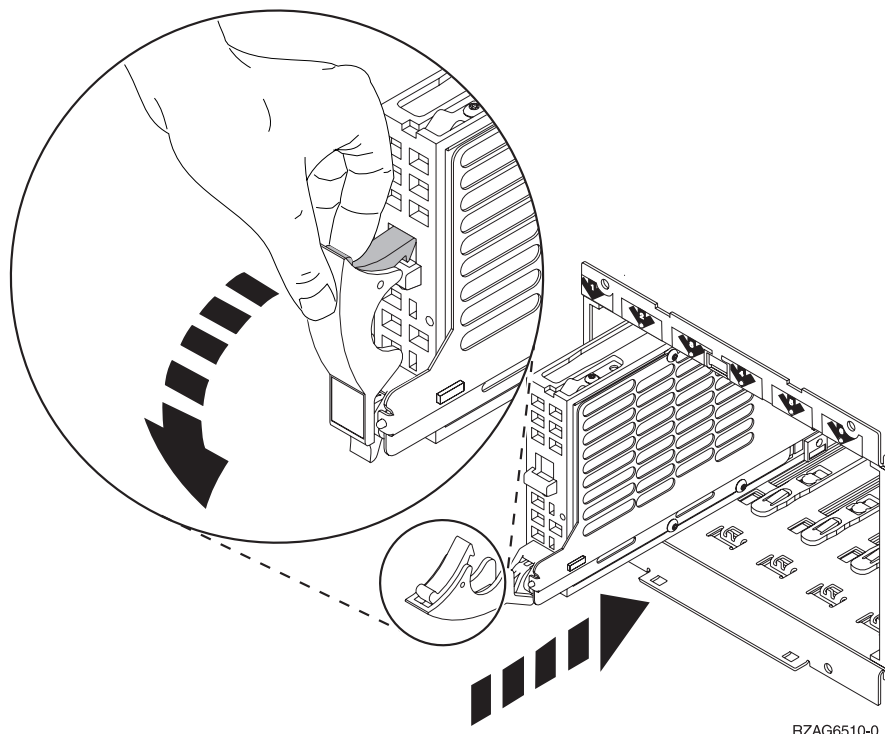
- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールを取り除きます。
 - c. 銅フォイルを、システム装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- 3. システム装置または拡張機構の中で、磁気ディスク機構の位置を確認します。23 ページの『磁気ディスク機構の位置』を参照してください。
 - 4. 磁気ディスク機構のカバーを取り外します。ラッチをつまんで引き出します。iSeries 825 では、磁気ディスク機構のカバーを使用しません。
 - 5. システム装置または拡張機構の前面を見て、次に使用できるスロット位置を判別します。拡張機構付きのシステムを使用している場合は、**まずシステム装置のスロット位置が埋められるようにしてください**。論理区画を使用している場合、特定のロード・ソース磁気ディスク機構の位置については、*Information Center* の『論理区画 計画』に進んでください。

- ___ 6. 新しいディスクを取り付ける位置を書き込みます
_____ (例: D03)。
- ___ 7. 磁気ディスク機構を取り付けるフレーム ID をここに書き込みます
_____。この情報は後で必要になります。基本システムのフレーム ID は 1 です。各外付け拡張機構のフレーム ID は、正面の表示パネルに示されています (たとえば、02)。
- ___ 8. 必ず、少なくとも保守レベルの権限を使用してサインオンしてください。
- ___ 9. iSeries セッションのコマンド行で **strsst** と入力し、実行キーを押します。
- ___ 10. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。実行キーを押します。
- ___ 11. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「**保守ツールの開始**」を選択します。実行キーを押します。
- ___ 12. 「保守ツールの開始」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択します。実行キーを押します。
- ___ 13. 画面で「**装置平行保守**」を選択します。実行キーを押します。
- ___ 14. 新しい磁気ディスク機構を取り付ける位置の「**物理位置**」(フレーム ID と位置)を入力します。ステップ 6 と 7 を参照してください。
たとえば、物理位置: フレーム ID 1___ 位置 D06___ の場合は、フレーム 1 (基本システム)、磁気ディスク機構位置 6 に磁気ディスク機構を取り付けます。
- ___ 15. オプション **2** を選択します (「実行する処置」の「装置の導入」)。
- ___ 16. 1 分間の遅延時間を設定します (01)。 (ここでは実行キーを押さないでください。)
- ___ 17. 新しい磁気ディスク機構アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。磁気ディスク機構を取り付ける前に、磁気ディスク機構の製造番号 (最後の 4 桁) をここに書き込みます
_____。



RV5B003-0

- __ 18. 磁気ディスク機構を取り付ける前に、ハンドルをつまんで手前に引き出して下げ、ハンドルのロックを解除します。ハンドルが完全に下がっていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置または拡張機構に入れることができません。  ビデオをご覧ください。





RZAG6510-0

- __ 19. 磁気ディスク機構アセンブリーを支え持ち、磁気ディスク機構をシステム装置または拡張機構に半分だけスライドさせて入れます。それ以上は押さないでください。

注: 磁気ディスク機構は 7123、7136、および 7137 磁気ディスク機構格納装置に水平に取り付けます。

- __ 20. 取り付ける磁気ディスク機構の傍らにある、番号の付いた矢印のライトを見つめます。次のステップで実行キーを押すと、そのライトが点灯し、速い速度で明滅を始めます。9 秒の間に、磁気ディスク機構を前方に向かって最後までスライドさせ、磁気ディスク機構のハンドルを押し込みます。
- __ 21. コンソールの実行キーを押します。
- __ 22. ライトが明滅を始めたら、1 分経過してから、磁気ディスク機構をスライドさせて完全に中に入れ、ラッチを閉じて正しい位置にロックします。
- __ 23. 磁気ディスク機構を正しく取り付けると、ライトの明滅が止まり、点灯したままになります。
- __ 24. コンソールに戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるまで待ちます。実行キーを押します。
- __ 25. 取り付ける磁気ディスク機構が他にありますか?
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: システム装置または拡張機構の前面を見て、次に取り付ける位置を決めます。ステップ 13 (4 ページ) ~ 24 を繰り返します。
- __ 26. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、**F12** を押します。
- __ 27. 「システム保守ツール」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。実行キーを押します。
- __ 28. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。実行キーを押します。
- __ 29. 「ディスク構成の表示」画面で、「非構成装置の表示」を選択します。実行キーを押します。
- __ 30. インストールした磁気ディスク機構がリストされています。製造番号は、ステップ 17 (4 ページ) で書き込んだ製造番号と一致している必要があります。


注: 新規磁気ディスク機構がリストに表示されるまでには 5 分ほどかかることがあります。磁気ディスク機構がリストにない場合は、その磁気ディスク機構が適切に取り付けられているか確認してください。3 ページの『取り付け時にシステムの電源がオンになっている場合』のステップ 1 ~ 24 を繰り返します。
- __ 31. F12 を 2 回押します。
- __ 32. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の処理」を選択します。実行キーを押します。
- __ 33. 既存の装置パリティ・セットに磁気ディスク機構を追加しますか? 装置パリティについて詳しくは、バックアップおよび回復の手引き  を参照してください。
 - __ はい: 次のステップに進みます。
 - __ いいえ: 装置パリティ・セットを開始しますか?
 - __ はい: *Information Center* の「装置パリティ保護」に進みます。
 - __ いいえ: ステップ 51 (8 ページ) に進みます。

- __ 34. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護への装置の組み込み」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 35. 「装置パリティ保護の組み込みが失敗」画面が表示されましたか？
- __ はい: 次のステップに進みます。
 - __ いいえ: ステップ 39 に進みます。
- __ 36. 装置パリティ保護を開始するには、その前に以下の条件が満たされている必要があります。さまざまな理由で、装置パリティ保護への磁気ディスク機構の組み込みに失敗する場合があります。
- 新規パリティ・セットの作成に十分な磁気ディスク機構が存在する場合、磁気ディスク機構は装置パリティ保護の開始 操作の対象になり、装置パリティ保護の組み込み 操作の対象にはなりません。詳しくは、バックアップおよび回復の手引き  を参照してください。
 - パリティ・セット内の磁気ディスク機構の容量はすべて同じでなければならない。作成するパリティ・セットに含まれる磁気ディスク機構の数は、ディスク装置タイプによって、最少 3 台または 4 台、最大 10 台または 18 台です。
 - 拡張機能入出力プロセッサに接続された磁気ディスク機構が、すべてシステムに報告されていない。操作を再試行してください。
 - 磁気ディスク機構のタイプ/型式が、要求された操作をサポートしていない。
- __ 37. 上記の条件が満たされている場合は、F12 を選択して「ディスク構成の処理」画面に戻ります。
- __ 38. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護への装置の組み込み」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 39. 装置パリティ保護に組み込む磁気ディスク機構を選択します。「装置パリティ保護への装置の組み込み」画面の「OPT」列に、1 と入力します。
実行キーを押します。
- __ 40. 選択内容を確認するために実行キーを押します。構成が始まり、完了までに 30 分 ~ 60 分かかります。
- __ 41. 装置パリティ保護が完了すると、「選択した装置は正常に組み込まれました。」というメッセージが「ディスク構成の処理」画面に表示されます。
- __ 42. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択して実行キーを押します。
- __ 43. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択して実行キーを押します。
- __ 44. 補助記憶域プール (ASP) が複数ある場合は、磁気ディスク機構に追加する ASP を決定します。
- __ 45. F12 を 2 回押します。
- __ 46. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加およびデータのバランス」を選択します。
実行キーを押します。

- __ 47. 「装置を追加する **ASP** の指定」画面で、ステップ 44 (7 ページ) で決定した **ASP** を指定します。
実行キーを押します。
- __ 48. 「装置の追加の確認」画面が表示され、追加操作が完了したときのシステムの構成が示されます。
- 注: **ASP** の選択を間違えた場合は、**F12** を押してオプションを変更します。実行キーを押して続けます。追加プロセスの完了には数分間かかります。
- __ 49. 「選択された装置は正常に追加されました。」というメッセージが表示されたら、「メインメニュー」に戻ります。(**F3** を 3 回押して、実行キーを押します。)
- __ 50. ステップ 59 に進みます。
- __ 51. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 52. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 53. 補助記憶域プール (**ASP**) が複数ある場合は、磁気ディスク機構に追加する **ASP** を決定します。
- __ 54. **F12** を 2 回押します。
- __ 55. 「ディスク構成の処理」画面で、「**ASP** への装置の追加」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 56. 磁気ディスク機構を追加する先の **ASP** の番号を指定します。システム **ASP** は **ASP 1** です。
実行キーを押します。
- 注:
- 磁気ディスク機構の偶数番号がミラー保護されている **ASP** に追加されると、それらの番号は自動的にミラー保護になります。
 - ASP** がミラー保護されている場合は、磁気ディスク機構は対にして追加しなければなりません。
- __ 57. 「装置の追加の確認」画面が表示され、追加操作が完了したときのシステムの構成が示されます。
- 注: **ASP** の選択を間違えた場合は、**F12** を押してオプションを変更します。実行キーを押して続けます。追加プロセスの完了には数分間かかります。
- __ 58. 「選択された装置は正常に追加されました。」というメッセージが表示されたら、「メインメニュー」に戻ります。(**F3** を 3 回押して、実行キーを押します。)
- __ 59. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構のカバーのタブをシステム装置のスロットと合わせ、止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ 60. システム装置または拡張機構の前面カバーを取り付けるか、閉じます。
- __ 61. 印刷装置がある場合は、構成リストを印刷します。サービス技術員が後で構成リストを参照することがあります。

- __ a. 保守権限を使用してサインオンしている必要があります。
 - __ b. 「メインメニュー」のコマンド行で、 **strsst** と入力して実行キーを押します。
 - __ c. 「システム保守ツール (SST) のサインオン」画面で、 **保守ツール・ユーザー ID** と **保守ツール・パスワード** を入力して、実行キーを押します。
 - __ d. 「システム保守ツール (SST)」画面で「**保守ツールの開始**」を選択して、実行キーを押します。
 - __ e. 「保守ツールの開始」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択して実行キーを押します。
 - __ f. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、F6 (構成の印刷) を押します。
 - __ g. 「メインメニュー」に戻るために、F3 (終了) を 2 回押して実行キーを押します。
 - __ h. 構成リストは、後で参照できる場所に保管しておきます。
- __ 62. 磁気ディスク機構のインストールが完了しました。
- __ 63. 磁気ディスク機構構成については、 *Information Center* の『ディスク管理』を参照してください。

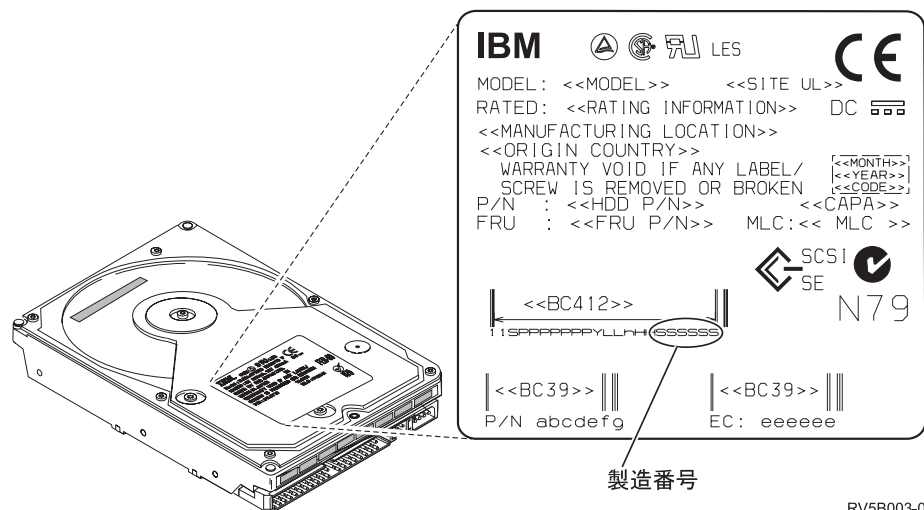
取り付け時にシステムの電源がオフになっている場合

- __ 1. **重要:** ディスク機構は壊れやすいため、注意して取り扱ってください。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了したら、iSeries コマンド行で **pwrwnsys *immed** と入力して、実行キーを押します。
- __ 4. iSeries の電源が完全に遮断されたら、すべての PC をシステム装置から外します。システム装置に接続されているすべての装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- __ 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- __ 6. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- __ 7. 装置の前面カバーを取り外すか、または開きます。19 ページの『前面カバーの開口と取り外し』を参照してください。
- __ 8. **静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。**  ビデオをご覧ください。 フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。

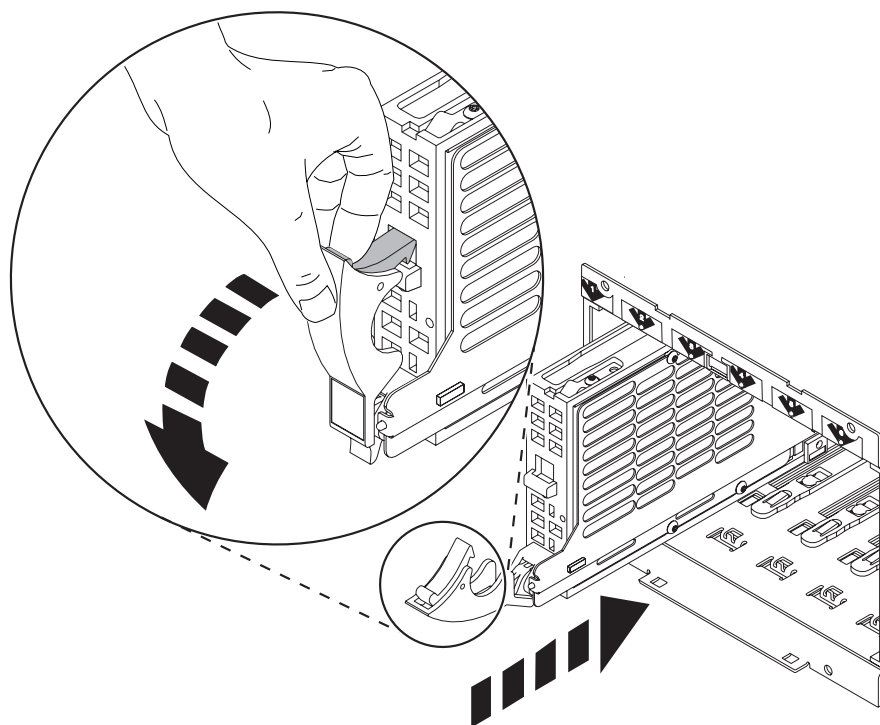
注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。 2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
- b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。

- c. 銅フォイルを、システム装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- 9. システム装置または拡張機構の中で、磁気ディスク機構の位置を確認します。 23 ページの『磁気ディスク機構の位置』を参照してください。
- 10. 磁気ディスク機構のカバーを取り外します。ラッチをつまんで引き出します。
- 11. システム装置または拡張機構の前面を見て、次に使用できるスロット位置を判別します。拡張機構付きのシステムを使用している場合は、**まずシステム装置のスロット位置が順序どおり埋められるようにしてください**。論理区画を使用している場合、特定のロード・ソース磁気ディスク機構の位置については、*Information Center* の『論理区画 計画』に進んでください。
- 12. 新しい磁気ディスク機構アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。磁気ディスク機構を取り付ける前に、磁気ディスク機構の製造番号 (最後の 4 桁) をここに書き込みます
- _____。



- 13. 磁気ディスク機構を取り付ける前に、ハンドルをつまんで手前に引き出して下げます。ハンドルが完全に下がっていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置または拡張機構に入れることができません。 ビデオをご覧ください。



RZAG6510-0

- __ 14. 磁気ディスク機構を前方に最後までスライドさせ、システム装置または拡張機構の内部に押し込む際には、磁気ディスク機構アセンブリーの底部を支えます。ハンドルで磁気ディスク機構を持たないでください。
- __ 15. 次に使用可能なスロットに磁気ディスク機構アセンブリーの位置を合わせ、システム装置または拡張機構の中に止まるまでスライドさせて入れます。ハンドルをシステム装置または拡張機構の中にスライドさせて入れる際に、ハンドルが完全に引き出されていることを確認してください。
- __ 16. 磁気ディスク機構のハンドルをクローズして、正しい位置にしっかりロックします。
- __ 17. 取り付ける磁気ディスク機構が他にありますか？
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: ステップ 9 (10 ページ) ~ 16 を繰り返します。
- __ 18. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構格納装置のカバーのタブを、システム装置格納装置のスロットと合わせます。止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ 19. インストールするアダプター・カードまたは機構がまだ他にありますか？
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: インストールする機構 (たとえば、アダプター・カード、テープ機構、または記憶機構カード) がまだ他にもある場合は、その機構に付属している説明書を参照してください。
- __ 20. 使い捨てリスト・バンドを取り外します。
- __ 21. 装置の前面カバーを取り付けるか、閉じます。

危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

電源コンセントに以下の電源コードを差し込みます。



- システム装置
- システム装置コンソール
- 拡張機構

- __ 23. すべての接続装置（印刷装置や表示装置など）のプラグを差し込み、電源をオンにします。
- __ 24. ご使用のシステム装置が iSeries 270 または 810 である場合には、ステップ 26 に進みます。
- __ 25. ご使用のシステム装置が、iSeries 820、825、830、840、870、または 890 である場合には、ステップ 29 (13 ページ) に進みます。
- __ 26. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。 35 ページの『システム装置の制御パネル』を参照してください。
- __ 27. 直前に 7104 拡張機構を取り付けましたか？
- __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: 以下の作業を行います。
 - __ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ i. 「機能/データ」画面に **07** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ k. 「機能/データ」画面に **07A9** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ l. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ m. 「機能/データ」画面に **0701** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

- __ n. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ o. ステップ 1 (37 ページ) で指定したプロセッサのタイプに応じて、ステップ 27p の構成 ID は 0795 または 0796 となります。
 - __ 2248、2250、または 2422 プロセッサ: 0795
 - __ その他のプロセッサ: 0796
- __ p. 「機能/データ」画面に **0795** または **0796** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ q. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」画面に **01 B M V=F** と表示されます。表示されない場合は、ステップ 27a (12 ページ) ~ 27q を繰り返します。
- __ r. ステップ 31 (14 ページ) に進みます。
- __ 28. 「機能/データ」画面に **01 B M V=S** と表示されていますか?
 - __ はい: ステップ 31 (14 ページ) に進みます。
 - __ いいえ: 以下の作業を行います。
 - __ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」画面に **01 B M S** と表示されます。表示されない場合は、ステップ 28a ~ 28j を繰り返します。
 - __ k. ステップ 31 (14 ページ) に進みます。
- __ 29. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- __ 30. 「機能/データ」画面に **01 B V=S** が表示されて、手動モード・インディケータ (小さい手) が点灯しましたか?
 - __ はい: 次のステップに進みます。
 - __ いいえ: 以下の作業を行います。
 - __ a. 手動モード・インディケータ (小さい手のマーク) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。

- __ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ h. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ i. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」画面に **01 B S** と表示されるはずですが、このように表示されない場合は、ステップ 30a (13 ページ) ~ 30i を繰り返します。
- __ 31. iSeries 制御パネルにある「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトがオンになるまで約 10 秒かかり、その後「機能/データ」画面にデータが表示されます。
- 注:** システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、およそ 5 ~ 10 分かかります。IPL が完了すると、システム装置のコンソールに「システムの IPL または導入」画面が表示されます。
- __ 32. 次の手順で磁気ディスク機構の構成を確認します。
- __ a. 「システムの IPL または導入」画面が表示されたら、「**専用保守ツール (DST) の使用**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ b. DST のユーザー ID とパスワードを入力します。
実行キーを押します。
 - __ c. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面で、「**ディスク装置の処理**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ d. 「ディスク装置の処理」画面で、「**ディスク構成の処理**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ e. 「ディスク構成の処理」画面で、「**ディスク構成の表示**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ f. 「ディスク構成の表示」画面で、「**非構成装置の表示**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ g. インストールした磁気ディスク機構がリストされています。製造番号は、ステップ 12 (10 ページ) で書き込んだ製造番号と一致している必要があります。

注: 磁気ディスク機構がリストにない場合は、その磁気ディスク機構が適切に取り付けられているか確認してください。

- __ h. 「ディスク構成の処理」画面に戻ります (F12 を 2 度押します)。
- __ 33. 既存の装置パーティール・セットに磁気ディスク機構を追加しますか? 装置パーティールについて詳しくは、バックアップおよび回復の手引き  を参照してください。
- __ はい: 次のステップに進みます。
- __ いいえ: ステップ 52 (16 ページ) に進みます。
- __ 34. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パーティール保護の処理」を選択します。
- 実行キーを押します。
- __ 35. 「装置パーティール保護への装置の組み込み」画面で、「装置パーティール保護への装置の組み込み」を選択します。
- 実行キーを押します。
- __ 36. 「装置パーティール保護の組み込みが失敗」画面が表示されましたか?
- __ はい: 次のステップに進みます。
- __ いいえ: ステップ 39 に進みます。
- __ 37. 装置パーティール保護を開始するには、その前に以下の条件が満たされている必要があります。さまざまな理由で、装置パーティール保護への磁気ディスク機構の組み込みに失敗する場合があります。
- 新規パーティール・セットの作成に十分な磁気ディスク機構が存在する場合、磁気ディスク機構は装置パーティール保護の開始操作の対象になり、装置パーティール保護の組み込み操作の対象にはなりません。詳しくは、バックアップおよび回復の手引き  を参照してください。
 - パティール・セット内の磁気ディスク機構の容量はすべて同じでなければならない。作成するパーティール・セットに含まれる磁気ディスク機構の数は、ディスク装置タイプによって、最少 3 台または 4 台、最大 10 台または 18 台です。
 - 拡張機能入出力プロセッサに接続された磁気ディスク機構が、すべてシステムに報告されていない。操作を再試行してください。
 - 磁気ディスク機構のタイプ/型式が、要求された操作をサポートしていない。
- __ 38. 上記の条件が満たされている場合は、F12 を 2 回押して「ディスク構成の処理」画面に戻ります。
- __ 39. 「装置パーティール保護へのディスク装置の組み込み」画面で、装置パーティール保護に組み込む磁気ディスク機構を選択します。「OPT」列に 1 を入力します。
- 実行キーを押します。
- __ 40. 選択内容を確認するために実行キーを押します。構成が始まり、完了までに 30 分 ~ 60 分かかります。

- __ 41. 装置パリティ保護が完了すると、「選択された装置は正常に組み込まれました。」というメッセージが「装置パリティ保護の処理」画面に表示されます。
F12 を押します。
- __ 42. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 43. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。
- __ 44. 補助記憶域プール (ASP) が複数ある場合は、磁気ディスク機構に追加する ASP を決定します。
- __ 45. F12 を 2 回押します。
- __ 46. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP 構成の処理」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 47. 「ASP 構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 48. 「装置を追加する ASP の指定」画面で、ステップ 45 で決定した ASP を指定します。
実行キーを押します。
- __ 49. 確認のために実行キーを押します。
- __ 50. 「選択された装置は正常に追加されました。」というメッセージが表示されたら、F3 を 3 回押してから実行キーを押して「メインメニュー」に戻ります。
- __ 51. ステップ 56 に進みます。
- __ 52. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP 構成の処理」を選択して実行キーを押します。
- __ 53. 「ASP 構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 54. 磁気ディスク機構を追加する先の ASP の番号を指定します。システム ASP は **ASP 1** です。
実行キーを押します。
注:
 - a. 磁気ディスク機構の偶数番号がミラー保護されている ASP に追加されると、それらの番号は自動的にミラー保護になります。
 - b. ASP がミラー保護されている場合は、磁気ディスク機構は対にして追加しなければなりません。
- __ 55. 「装置の追加の確認」画面が表示され、追加操作が完了したときのシステムの構成が示されます。
注: ASP の選択を間違えた場合は、F12 を押してオプションを変更します。実行キーを押して続けます。追加プロセスの完了には数分間かかります。
- __ 56. F12 を 3 回押して、「専用保守ツール (DST) の使用」画面に戻ります。
- __ 57. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面で、「IPL の実行」を選択します。

実行キーを押します。


- __ 58. 印刷装置がある場合は、構成リストを印刷します。サービス技術員が後で構成リストを参照することがあります。
 - __ a. 保守権限を使用してサインオンしている必要があります。
 - __ b. 「メインメニュー」のコマンド行で、**strsst** と入力します。
実行キーを押します。
 - __ c. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。
実行キーを押します。
 - __ d. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「**保守ツールの開始**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ e. 「**保守ツールの開始**」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択します。
実行キーを押します。
 - __ f. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面で、F6 (構成の印刷) を押します。
 - __ g. 「メインメニュー」に戻るために、F3 (終了) を 2 回押してから、実行キーを押します。
 - __ h. 構成リストは、後で参照できる場所に保管しておきます。
- __ 59. 磁気ディスク機構のインストールが完了しました。
- __ 60. 磁気ディスク機構を作動可能にする方法については、*Information Center* の『ディスク管理』を参照してください。

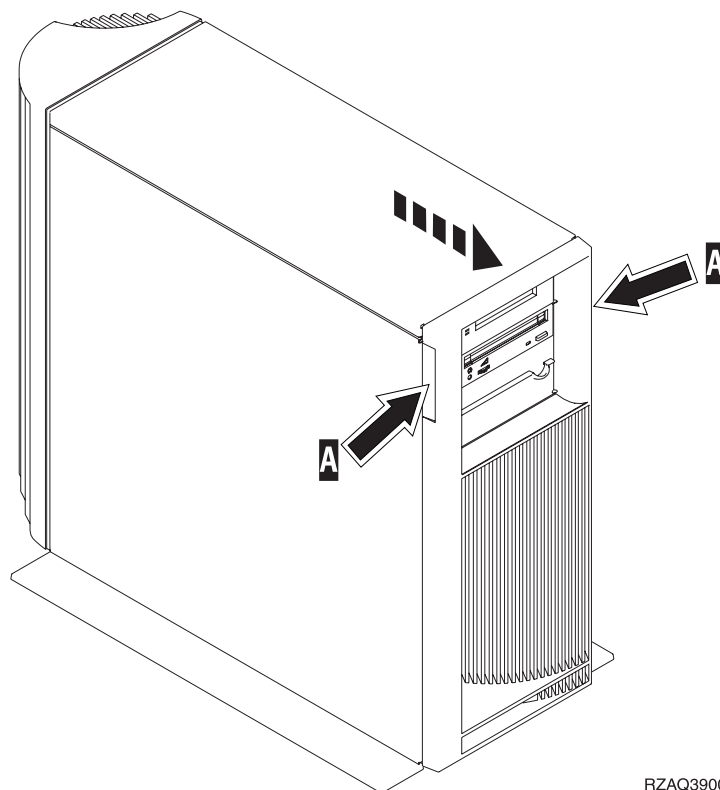
前面カバーの開口と取り外し

ご使用の装置を選択してください。

- 19 ページの『270、810、820、または 5075 の前面カバー』
- 21 ページの『ラック内の 270 または 810』
- 20 ページの『825 の前面カバー』
- 22 ページの『830、840、870、890、5074、5079、5094、または 5095』


270、810、820、または 5075 の前面カバー

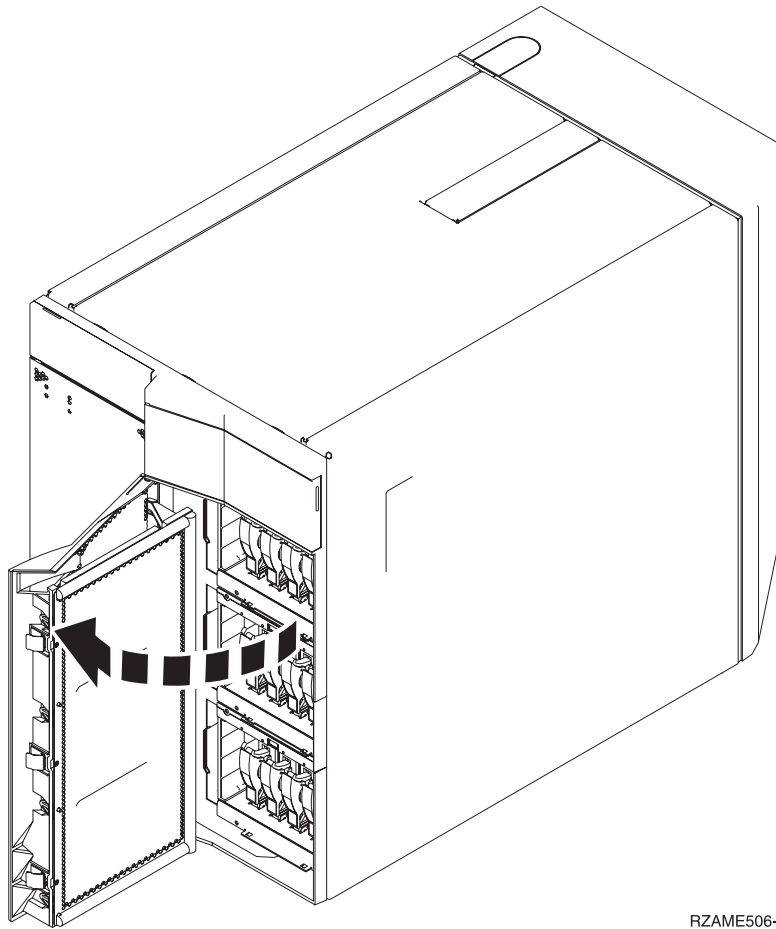
システム装置または拡張タワーの前面カバーを取り外すときは、カバー **A** の両端をつかみ、カバーを手前に引きます。  ビデオをご覧ください。



RZAQ3900-0

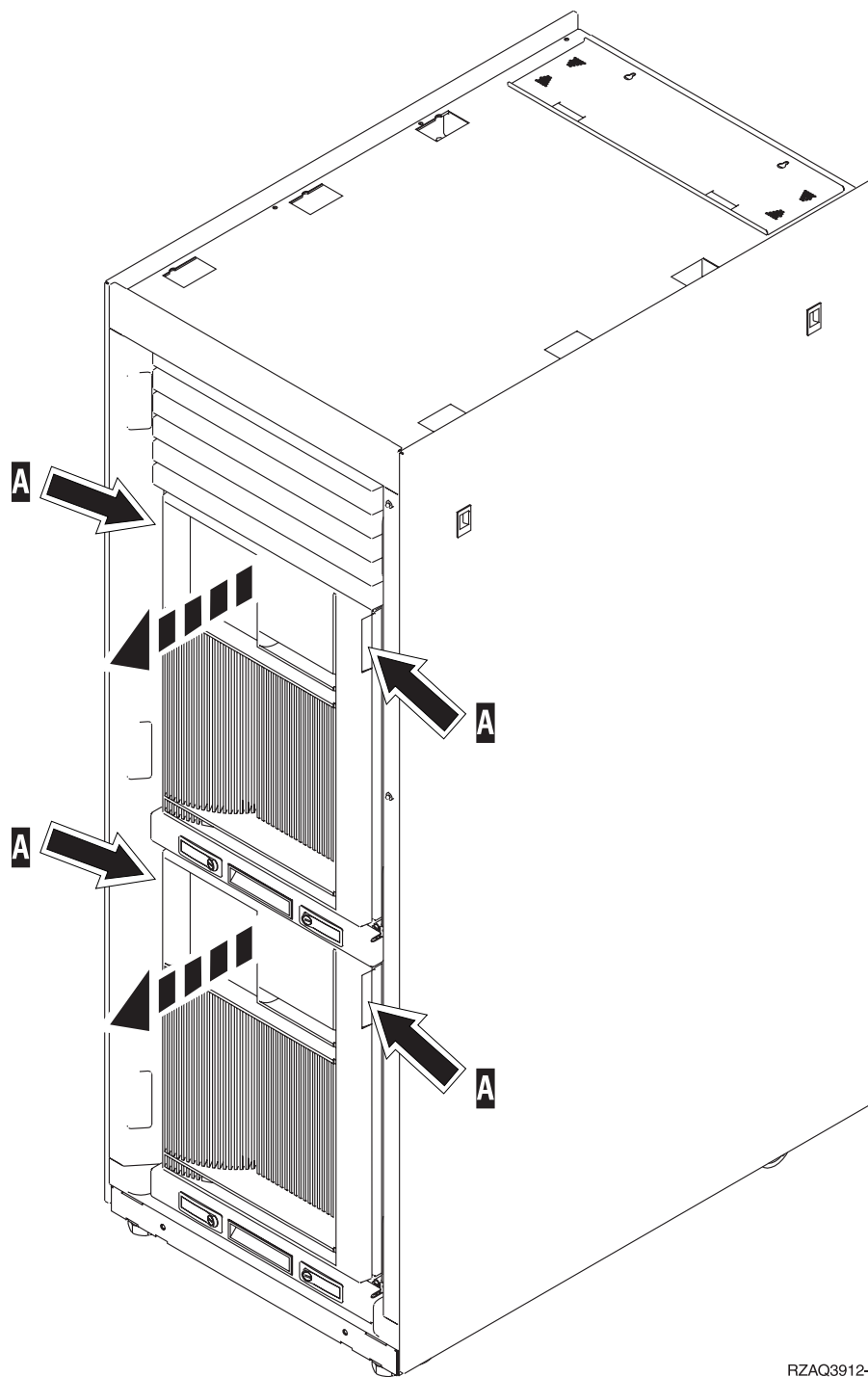
825 の前面カバー

カバーの両端をつかみ、カバーを手前に引いて、前面カバーを取り外します。  ビデオをご覧ください。



RZAME506-0

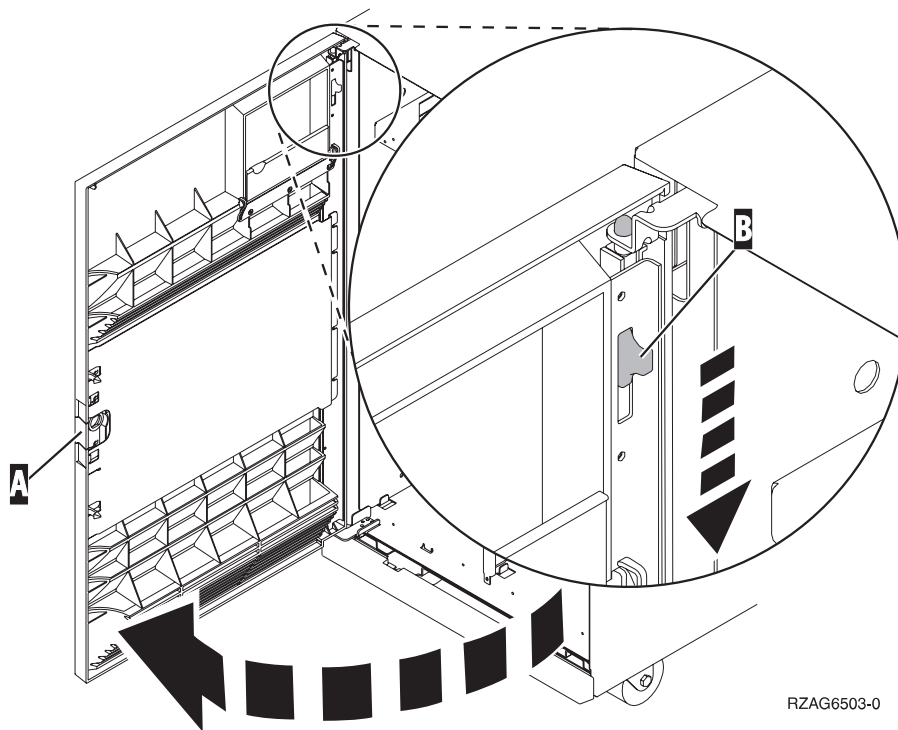
ラック内の 270 または 810



RZAQ3912-0

830、840、870、890、5074、5079、5094、または 5095

A を使用して、前面カバーを開けます。必要に応じて、ラッチ **B** を使用して前面カバーを取り外します。



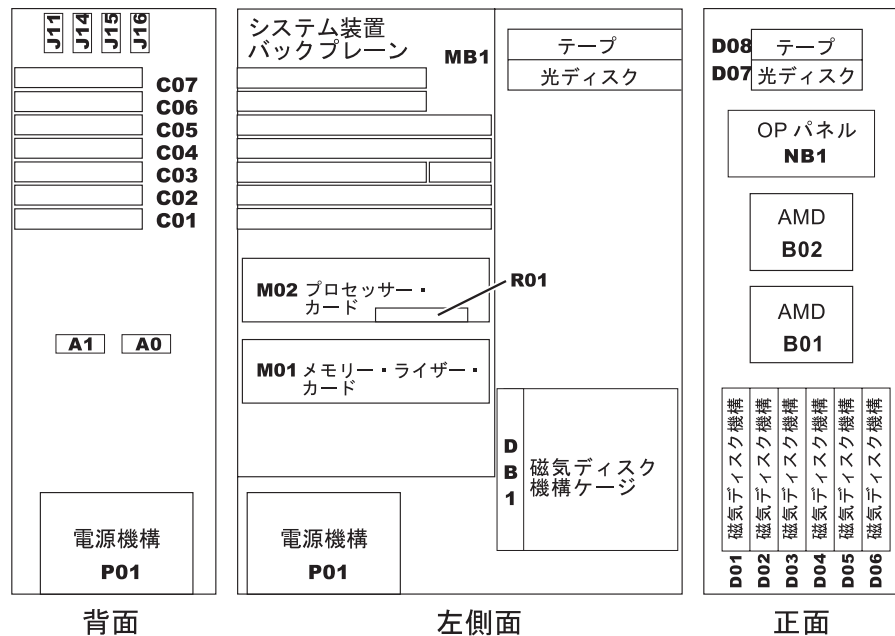
RZAG6503-0

磁気ディスク機構の位置

以下のリストでシステム装置または拡張機構を指定して、磁気ディスク機構の位置を確認してください。論理区画を使用している場合、特定のロード・ソース磁気ディスク機構の位置については、*Information Center* の『論理区画 計画』に進んでください。

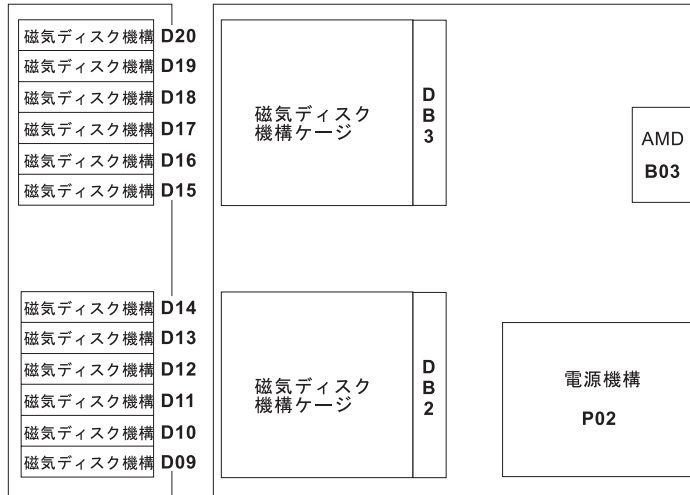
- 23 ページの『270 または 810 システム装置』
- 24 ページの『7104 または 7116 拡張機構』
- 25 ページの『820 システム装置』
- 26 ページの『825 システム装置』
- 27 ページの『830 システム装置』
- 28 ページの『840 システム装置』
- 29 ページの『870 および 890 システム装置』
- 30 ページの『5065、5074、および 5094 拡張機構』
- 31 ページの『5075 および 5095 拡張機構』
- 32 ページの『5079 および 5294 拡張機構』

270 または 810 システム装置



RZAQ2502-7

7104 または 7116 拡張機構

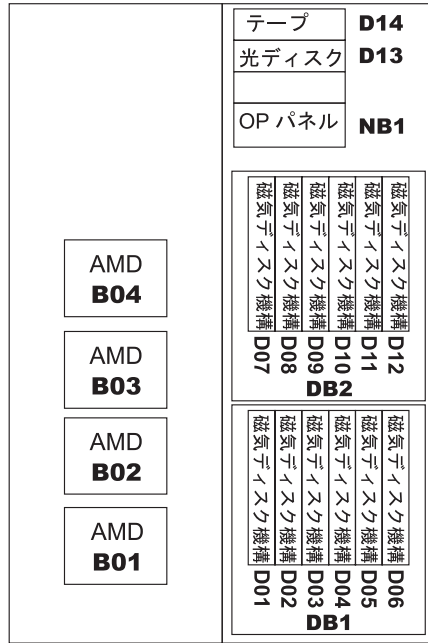


正面

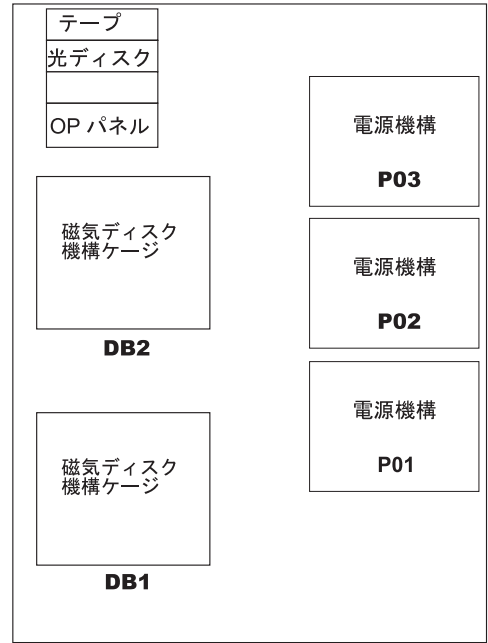
右側面

RZAQ2522-0

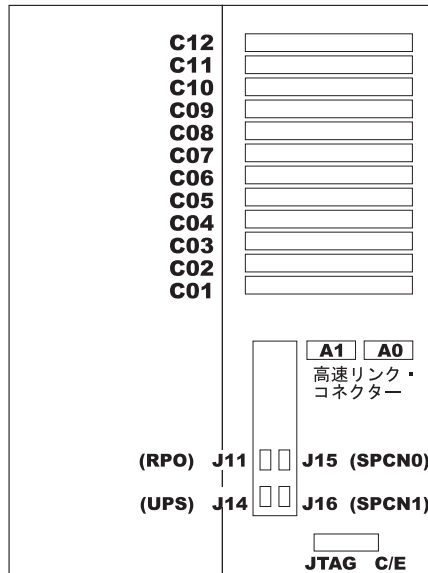
820 システム装置



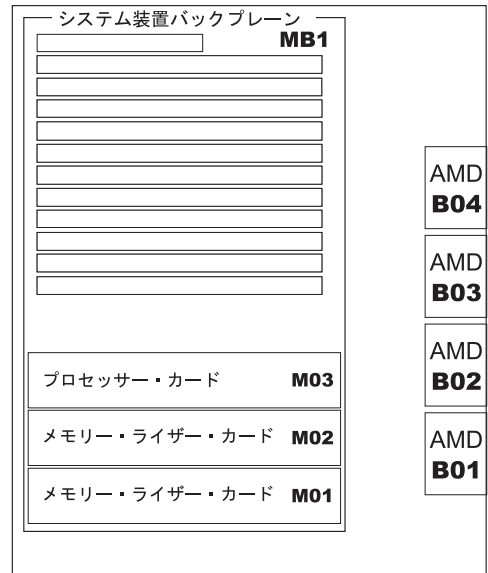
正面



右側面



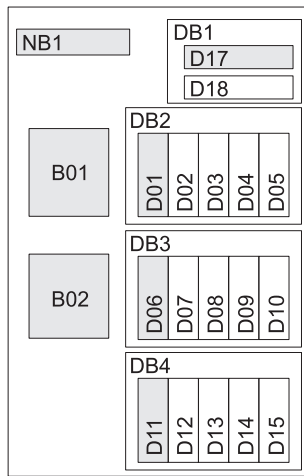
背面



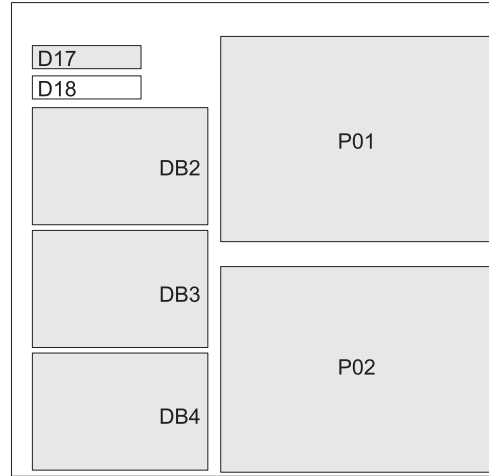
左側面

RZAQ2503-6

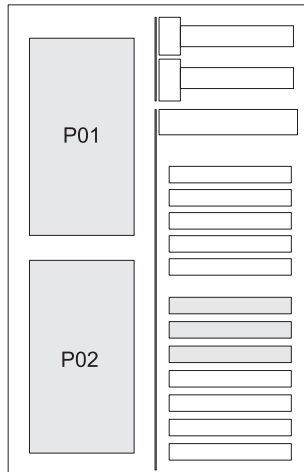
825 システム装置



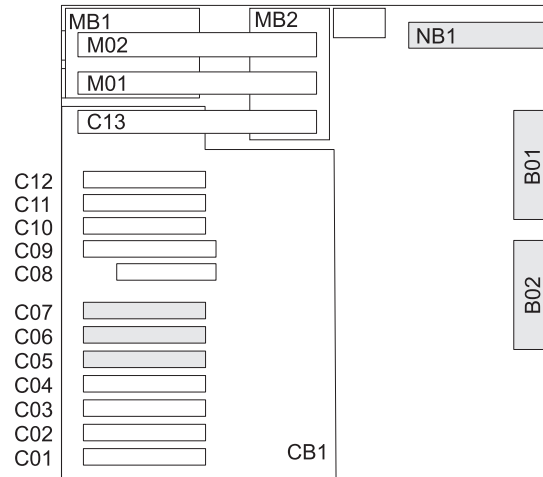
正面



右側面



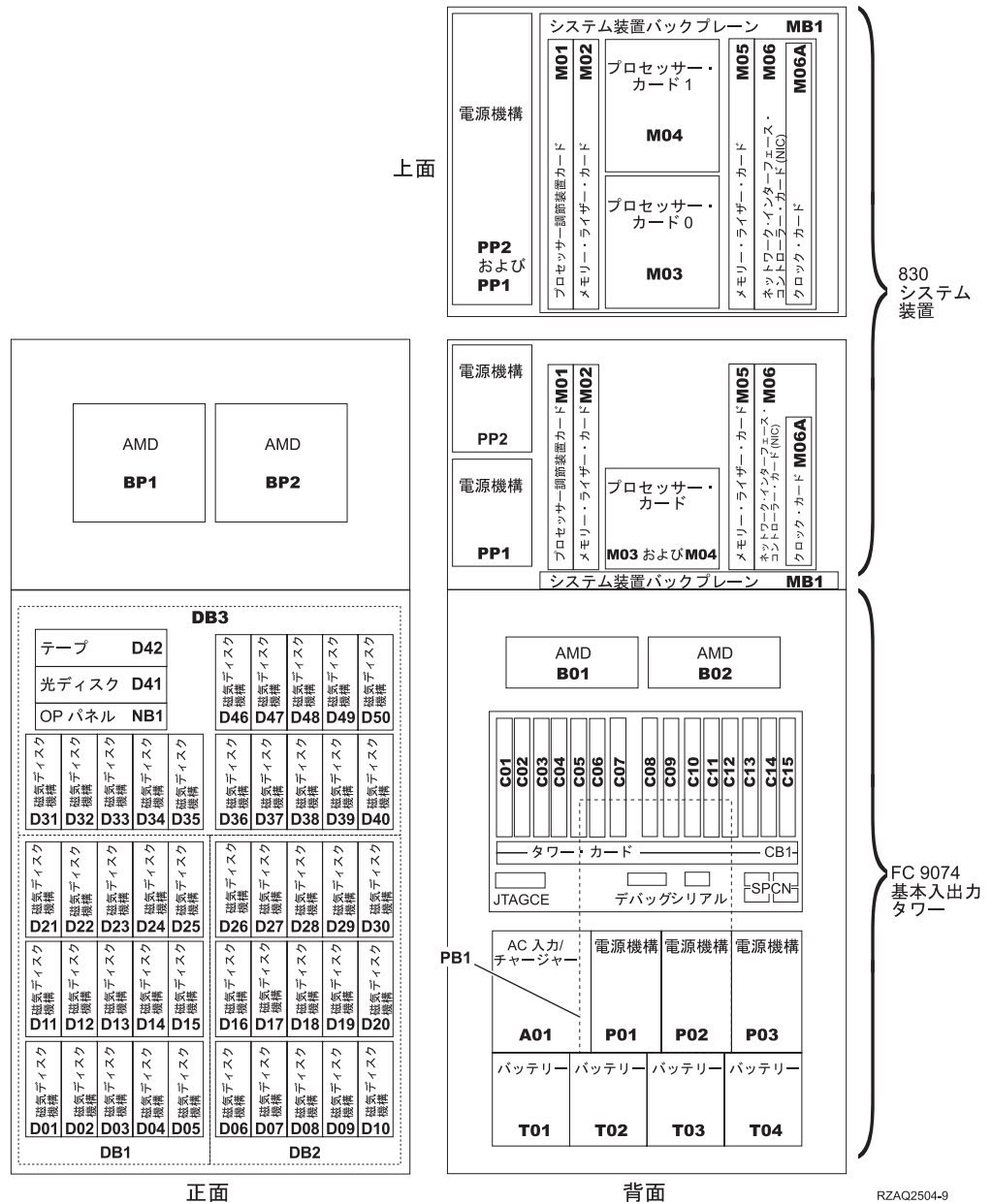
背面



左側面

RZAR6800-3

830 システム装置

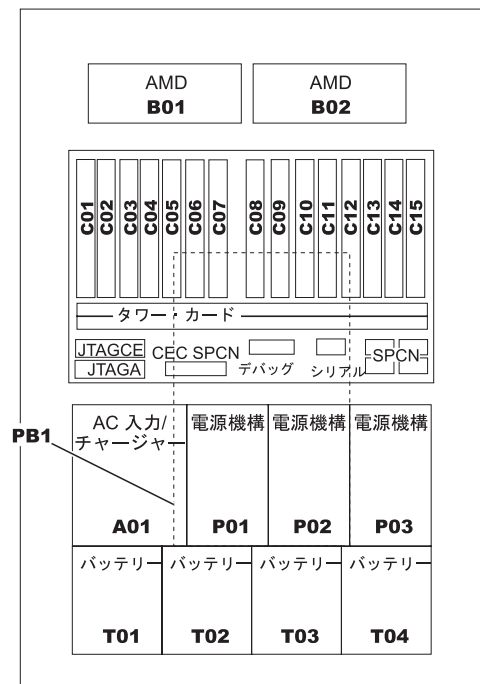


注: 最大限のパフォーマンスを得るための磁気ディスク機構の接続順序:
 D31、D36、D46、D32、D37、D47、... D50、(2 つ目のアダプターを追加)、
 D01、D11、D21、D02、... D25、(3 つ目のアダプターを追加)、D06、D16、
 D26、D07、... D30。

840 システム装置



正面



背面

RZAQ2518-1

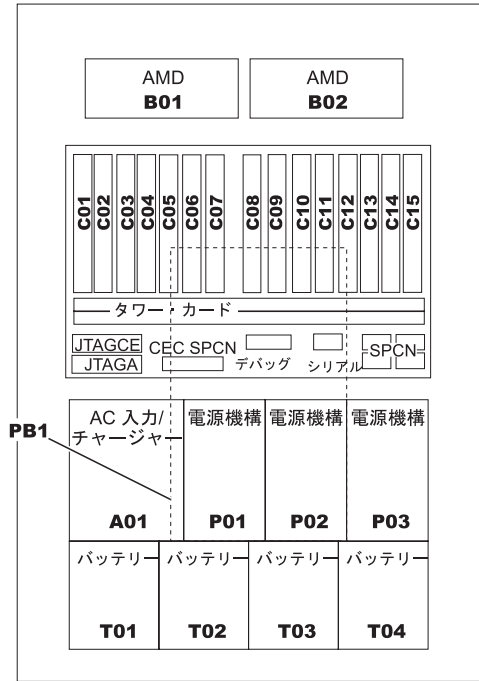
注: 最大限のパフォーマンスを得るための磁気ディスク機構の接続順序:

D31、D36、D46、D32、D37、D47、... D50、(2 つ目のアダプターを追加)、
D01、D11、D21、D02、... D25、(3 つ目のアダプターを追加)、D06、D16、
D26、D07、... D30。

870 および 890 システム装置



正面

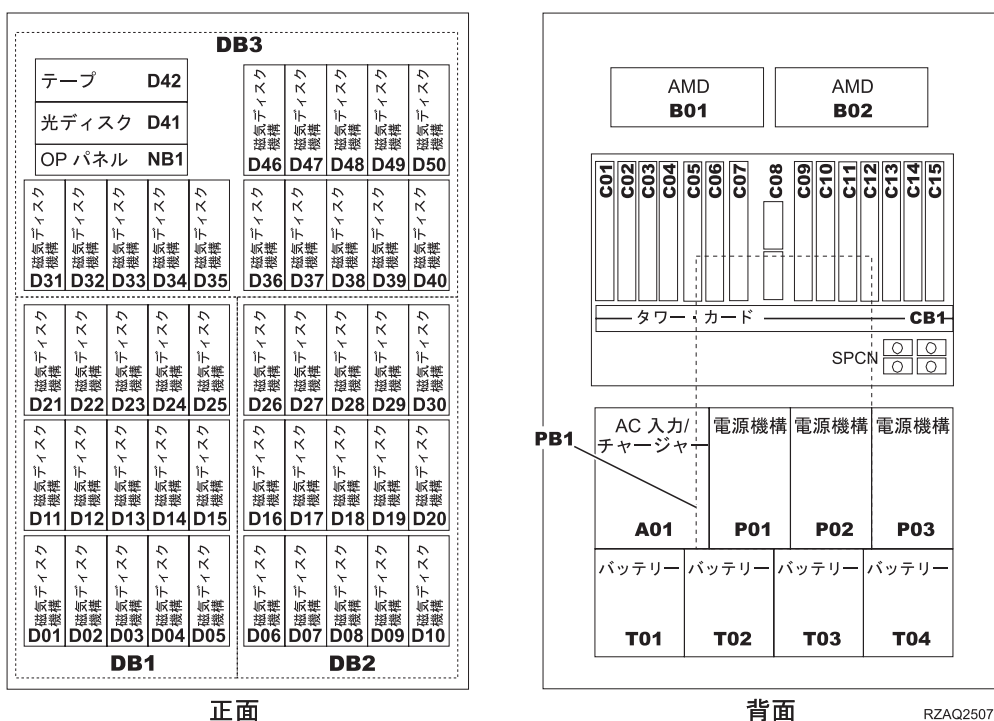


背面

RZAQ2518-1

注: 最大限のパフォーマンスを得るための磁気ディスク機構の接続順序:
 D31、D36、D46、D32、D37、D47、... D50、(2 つ目のアダプターを追加)、
 D01、D11、D21、D02、... D25、(3 つ目のアダプターを追加)、D06、D16、
 D26、D07、... D30。

5065、5074、および 5094 拡張機構



最適な磁気ディスク機構の位置の選択

磁気ディスク機構を取り付ける際には、磁気ディスク制御機構に磁気ディスク機構を均等に配分する必要があります。磁気ディスク機構を均等に配分することにより、最高のパフォーマンスを得ることができます。

5079 を使用している場合の注: 5079 は、2 つの独立した拡張機構 (5079-001 と 5079-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

5094 を使用している場合の注: 5094 は、2 つの独立した拡張機構 (5094-001 と 5094-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

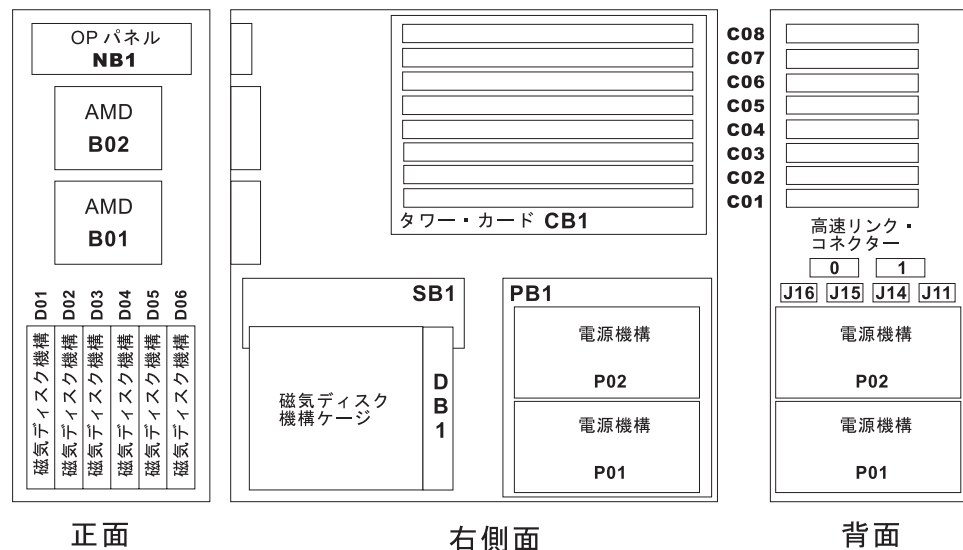
注: フィーチャー 4331 1.65 GB 拡張キャッシュ (PCI タワー用) を取り付ける場合、この磁気ディスク機構は磁気ディスク機構格納装置の位置 1 にだけ取り付けることができます。たとえば、これらのフィーチャーが 3 つある場合 (磁気ディスク制御機構が 3 つあれば)、位置 D31、D01、および D06 に取り付けることができます。

前面カバーの内側にあるラベルを参照して、以下の順序で磁気ディスク機構を取り付けます。

- 1. まず、1 つ目の高速磁気ディスク制御機構が制御するディスク機構の位置がすべて埋められるように取り付けます。
 - a. スロット **1** に取り付け: D31、D36、D46
 - b. スロット **2** に取り付け: D32、D37、D47

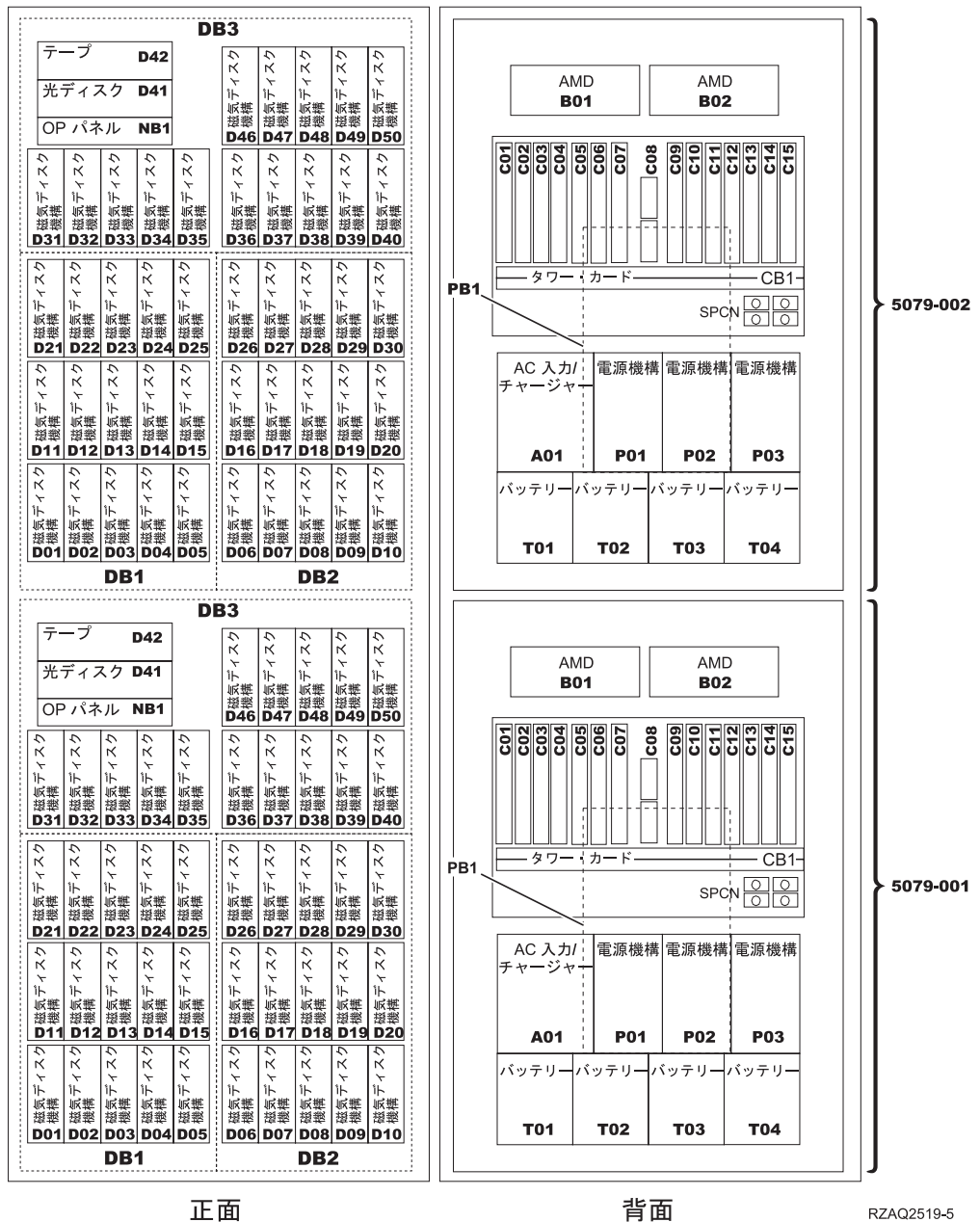
- __ c. スロット **3** に取り付ける: D33、D38、D48
 - __ d. スロット **4** に取り付ける: D34、D39、D49
 - __ e. スロット **5** に取り付ける: D35、D40、D50
- __ 2. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カード 2) がない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。
- 次に、以下の順序でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 2)。
- __ a. スロット **1** に取り付ける: D01、D11、D21
 - __ b. スロット **2** に取り付ける: D02、D12、D22
 - __ c. スロット **3** に取り付ける: D03、D13、D23
 - __ d. スロット **4** に取り付ける: D04、D14、D24
 - __ e. スロット **5** に取り付ける: D05、D15、D25
- __ 3. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カード 3) がない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。
- 最後に、以下の順序でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 3)。
- __ a. スロット **1** に取り付ける: D06、D16、D26
 - __ b. スロット **2** に取り付ける: D07、D17、D27
 - __ c. スロット **3** に取り付ける: D08、D18、D28
 - __ d. スロット **4** に取り付ける: D09、D19、D29
 - __ e. スロット **5** に取り付ける: D10、D20、D30

5075 および 5095 拡張機構



RZAQ2500-4

5079 および 5294 拡張機構



最適な磁気ディスク機構の位置の選択

磁気ディスク機構を取り付ける際には、磁気ディスク制御機構に磁気ディスク機構を均等に配分する必要があります。磁気ディスク機構を均等に配分することにより、最高のパフォーマンスを得ることができます。

5079 を使用している場合の注: 5079 は、2 つの独立した拡張機構 (5079-001 と 5079-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

5294 を使用している場合の注: 5294 は、2 つの独立した拡張機構 (5294-001 と 5294-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

注: フィーチャー 4331 1.65 GB 拡張キャッシュ (PCI タワー用) を取り付ける場合、この磁気ディスク機構は磁気ディスク機構格納装置の位置 1 にだけ取り付けることができます。たとえば、これらのフィーチャーが 3 つある場合 (磁気ディスク制御機構が 3 つあれば)、位置 D31、D01、および D06 に取り付けることができます。

前面カバーの内側にあるラベルを参照して、以下の順序で磁気ディスク機構を取り付けます。

- __ 1. まず、1 つ目の高速磁気ディスク制御機構が制御するディスク機構の位置がすべて埋められるように取り付けます。
 - __ a. スロット **1** に取り付ける: D31、D36、D46
 - __ b. スロット **2** に取り付ける: D32、D37、D47
 - __ c. スロット **3** に取り付ける: D33、D38、D48
 - __ d. スロット **4** に取り付ける: D34、D39、D49
 - __ e. スロット **5** に取り付ける: D35、D40、D50
- __ 2. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カード 2) がない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。

次に、以下の順序でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 2)。

 - __ a. スロット **1** に取り付ける: D01、D11、D21
 - __ b. スロット **2** に取り付ける: D02、D12、D22
 - __ c. スロット **3** に取り付ける: D03、D13、D23
 - __ d. スロット **4** に取り付ける: D04、D14、D24
 - __ e. スロット **5** に取り付ける: D05、D15、D25
- __ 3. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カード 3) がない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。

最後に、以下の順序でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 3)。

 - __ a. スロット **1** に取り付ける: D06、D16、D26
 - __ b. スロット **2** に取り付ける: D07、D17、D27
 - __ c. スロット **3** に取り付ける: D08、D18、D28
 - __ d. スロット **4** に取り付ける: D09、D19、D29
 - __ e. スロット **5** に取り付ける: D10、D20、D30

システム装置の制御パネル

iSeries システム装置の前面にある、制御パネルの扉を開きます。

制御パネルの外観は、図 1、または 36 ページの図 2 のようになっています。ご使用の装置の制御パネルを確認してください。

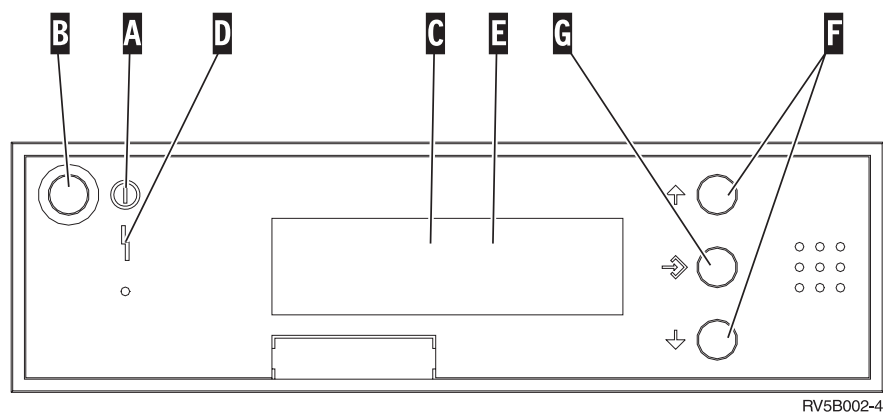


図 1. 電子キースティックのない制御パネル

以下は、図 1 にある各部の説明です。

- A** 「電源オン」ライト
 - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
 - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」ライト
- E** 「機能/データ」表示パネル
- F** 「増/減」ボタン
- G** 「機能開始」押しボタン

制御パネルが 36 ページの図 2 のようになっている場合、**F** の「増/減」ボタンと **G** の「実行」押しボタンを使用するには、先に **H** の「モード選択」ボタンを押して、手動モード **N** を選択しておく必要があります。

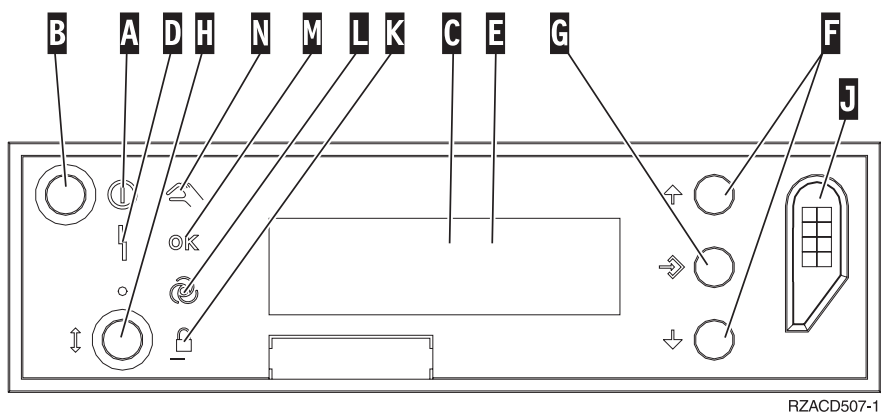


図2. 電子キースティックのある制御パネル

- A** 「電源オン」 ライト
 - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
 - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」 押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」 ライト
- E** 「機能/データ」 表示パネル
- F** 「増/減」 ボタン
- G** 「機能開始」 押しボタン
- H** 「モード選択」 ボタン
- J** 電子キースティック・スロット
- K** ロック
- L** 自動
- M** 通常
- N** 手動


270 サーバーへの 7104 拡張機構の取り付けまたは 810 サーバーへの 7116 拡張機構の取り付け

- 1. 以下のようにして、ご使用の型式 270 または 810 のプロセッサを判別してください。

手動モード (**01 B M S**) にするには、以下のようにします。

 - a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - g. 「機能/データ」画面に **20** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - i. システム・プロセッサのフィーチャー番号は、制御パネル画面の上部に表示される長い数字部分の最後の 4 桁です。ここに書き込みます
_____。
 - j. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - k. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - l. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - m. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - n. 「機能/データ」画面に **N** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - o. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に **02 B N S** が表示されるはずですが、表示されない場合は、ステップ 1a ~ 1o を繰り返します。
- 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- 3. すべてのジョブが完了したら、iSeries コマンド行で `pwrdownsys *immed` と入力して、実行キーを押します。
- 4. ディスク機構の電源が完全に遮断されたら、システム装置に接続されているすべての PC および装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。

- __ 6. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- __ 7. 前面カバーを取り外します。19ページの『270、810、820、または5075の前面カバー』を参照してください。
- __ 8. 背面カバーを取り外します。59ページの『側面および背面カバーの取り外し』を参照してください。
- __ 9. 右側面カバーを取り外します(2つのつまみねじ)。
- __ 10. 左側面カバーを取り外します(2つのつまみねじ)。
- __ 11. 上面カバーを取り外します(2つのねじ)。上面カバーを後側にスライドさせて持ち上げます。
- __ 12. **静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。**  ビデオをご覧ください。フォイルの粘着側を、装置のフレームの未塗装面に取り付けます。

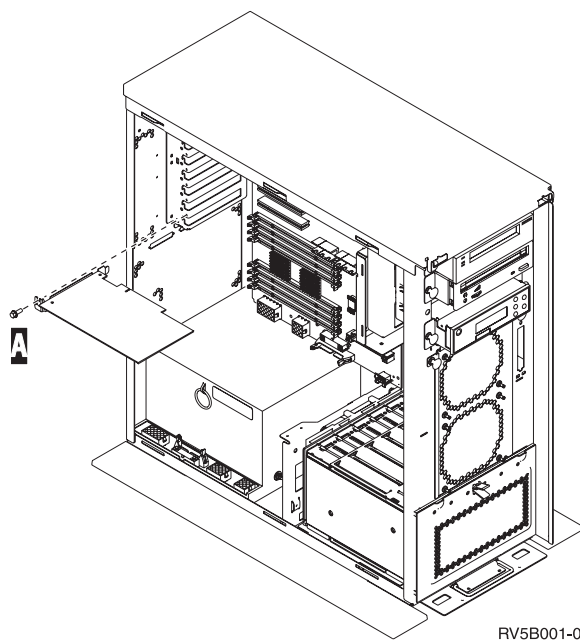
注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
 - c. 銅フォイルを、システム装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます(アース)。
- __ 13. 2763、4748、4778、または5705 IOA カードを受け取りましたか?
 いいえの場合は、ステップ 24 (41 ページ) に進みます。
 はいの場合は、下表を使用して IOA カードを取り付ける場所を判別してください。

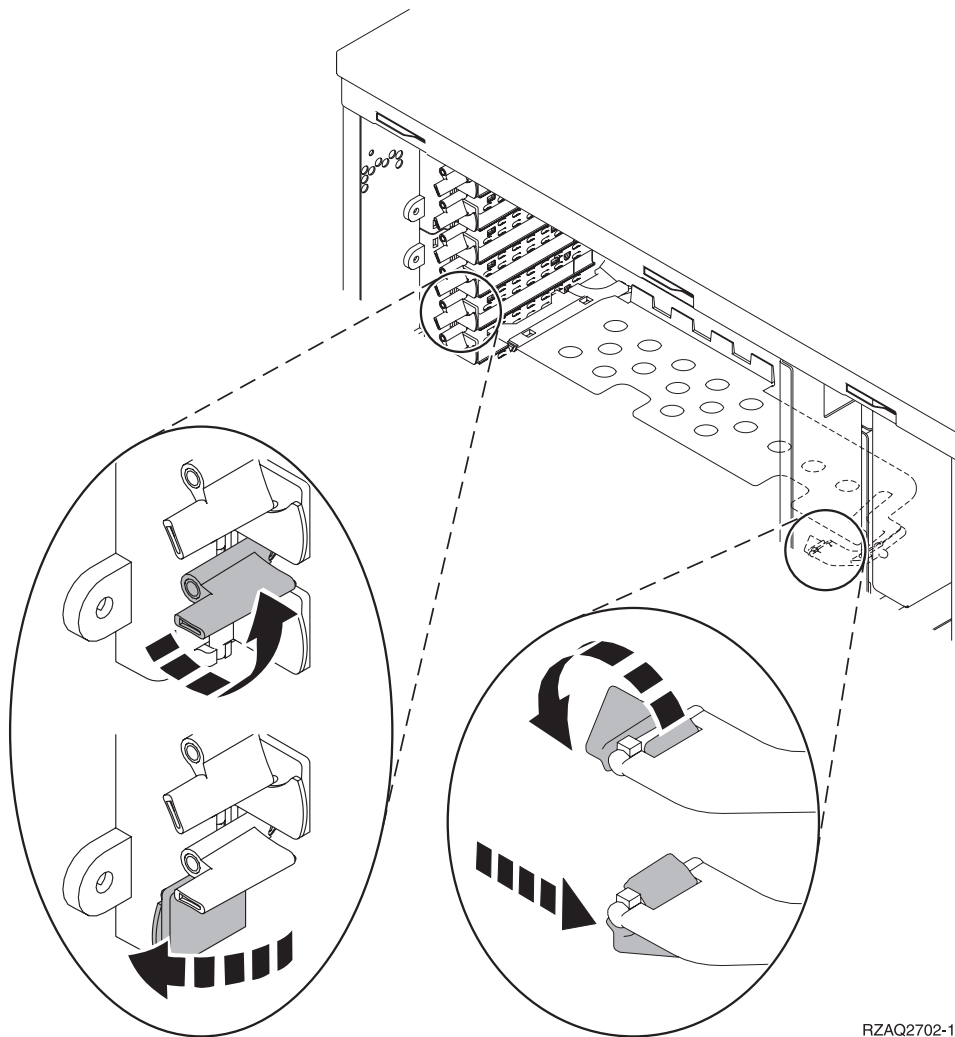
受け取ったカード	現在の位置 C01	必要な処置
2763 または 2782	9767	位置 C02 に 2763 または 2782 を取り付けます。
	2763	位置 C02 に新しい 2763 または 2782 を取り付けます。
2748、2757、4778、または 5705	9767	9767 を取り外し、2748、2757、4778、または 5705 を位置 C01 に取り付けます。
	2763	2763 を取り外し、2748、2757、4778、または 5705 を位置 C01 に取り付けます。

- __ 14. システム装置の内部で、アダプター・カードの位置を確認します。

__ 15. カードを固定するねじが装置に付いていますか?



- __ いいえ: 次のステップに進みます。
- __ はい: 以下の作業を行います。
 - __ a. カードの取り外しまたは取り付けを行うカード位置から、ねじを取り外します。
 - __ b. ステップ 17 (40 ページ) に進みます。
- __ 16. カードの取り外しまたは取り付けを行うカード位置にあるラッチを開けます。ラッチを左回りに動かし、ラッチを外側に回します。



RZAQ2702-1

図3. カードのラッチの例

- __ 17. カードを取り外す場合は、カードを保護用パッケージに入れます。
- __ 18. **重要:** アダプター・カードは壊れやすいので、以下の点に留意してください。
 - 取り扱う際には端だけを持つ
 - プリント回路部分には指を触れない
 - 取り扱う際には静電気防止用リスト・バンドを着用する
 - 取り付ける用意ができるまで保護用パッケージに入れておく
- __ 19. この位置に取り付けるアダプター・カードを用意します。
- __ 20. アダプター・カードをシステム装置内のカード・ホルダーと合わせて、しっかり接続されるまで押し込みます。
- __ 21. ラッチを内側に回してから、右回りに動かしてカードを固定します。
- __ 22. カードを取り外した際に、そのカードを取り付ける位置を判別する必要がある場合は、*Information Center* の PCI カード、インストールの手引きを参照してください。

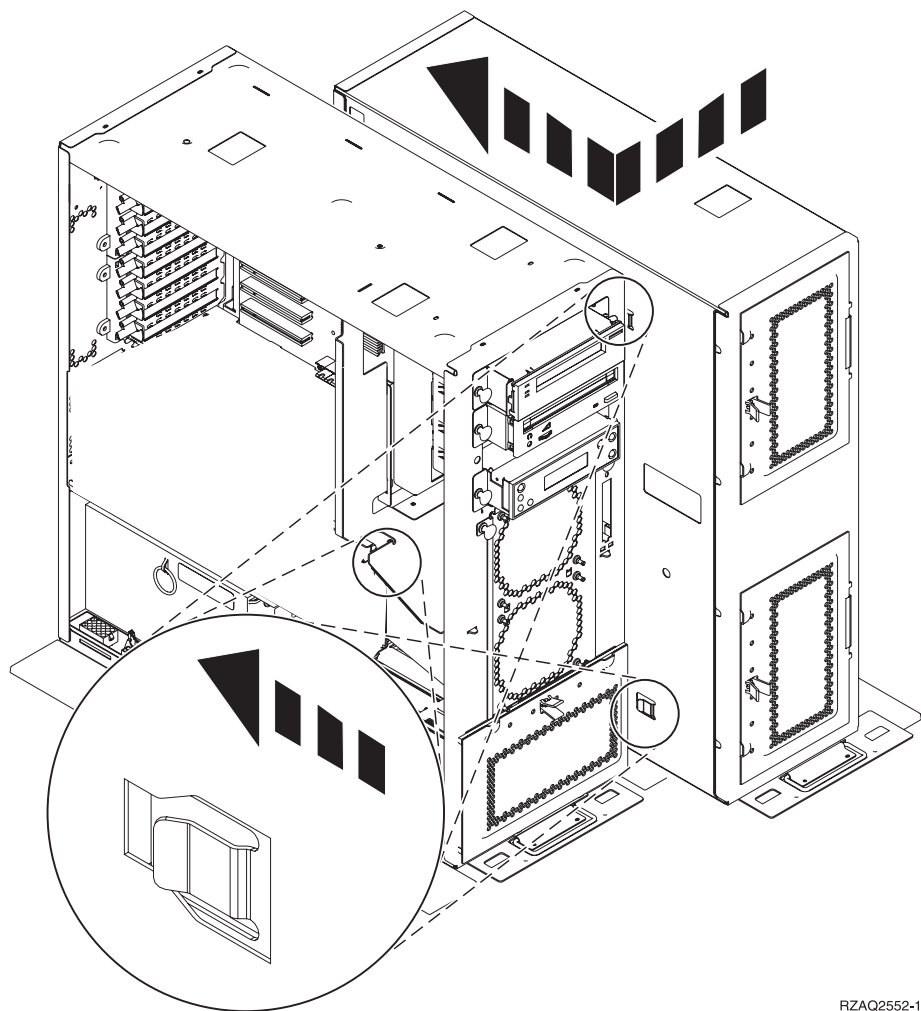
__ 23.

⚠ 危険

接地（アース）の異なる 2 つの面に触って感電事故が起きることのないように、可能であれば、片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。(RSFTD004)

ケーブルをすべて接続し、それらのケーブルにカード位置を示すラベルを付けます。

- __ 24. 拡張機構とシステム装置を横並びに配置します。
- __ 25. システム拡張機構の左側面が、システム装置の右側面より少し前になるように配置します。



RZAQ2552-1

- __ 26. システム拡張機構の左側面には、システム装置フレームの右側面のスロットとかみ合うコネクタ・フックがあります。
- __ 27. 両装置の位置が合うまで、拡張機構を後側にスライドさせ、コネクタ・フックをかみ合わせます。
- __ 28. 2 つのつまみねじ **B** を取り付けて、拡張機構をシステム装置に固定します。拡張機構の側からつまみねじを取り付けます。

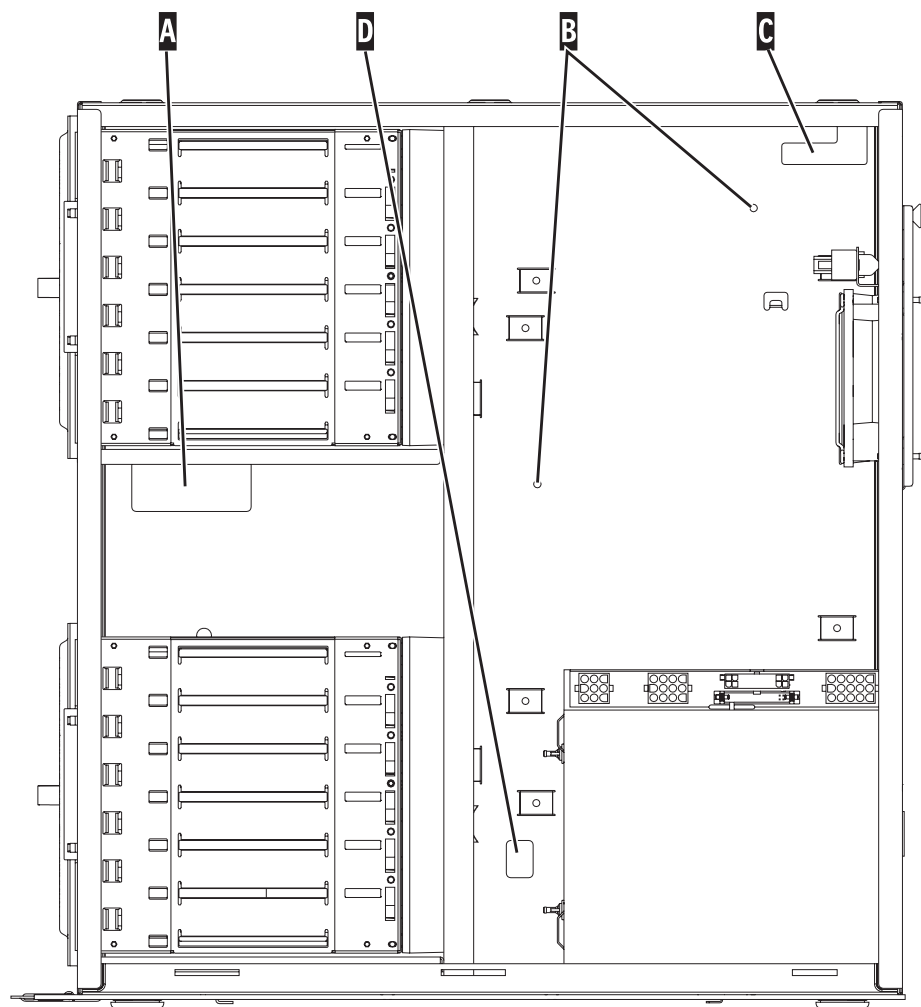
__ 29. データ・ケーブル (部品番号 04N2273) を用意します。ケーブルの端 (白いケーブル保持器具の反対側) を、下部の磁気ディスク機構格納装置に接続します。

__ 30. 拡張機構から開口部を通してケーブルを出します。

A 磁気ディスク機構データ・ケーブル (部品番号 04N2273)

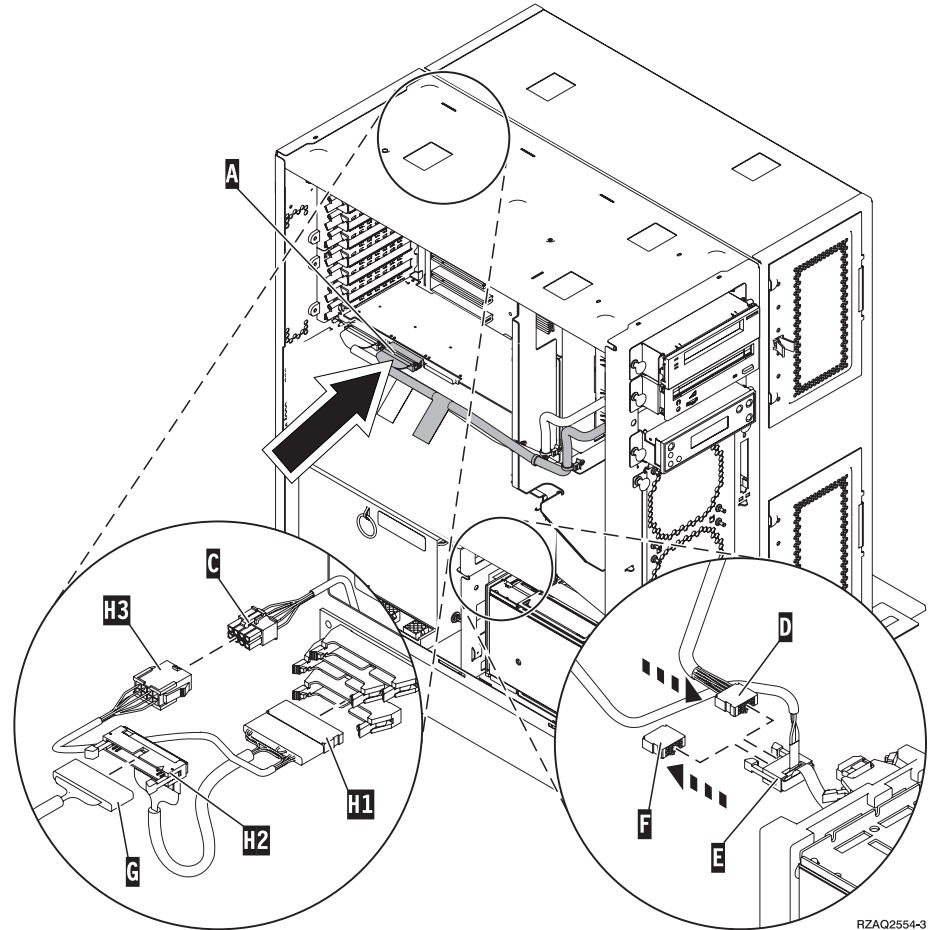
C 送風装置ケーブル (部品番号 04N5720)

D 電源制御ケーブル (部品番号 04N5735)



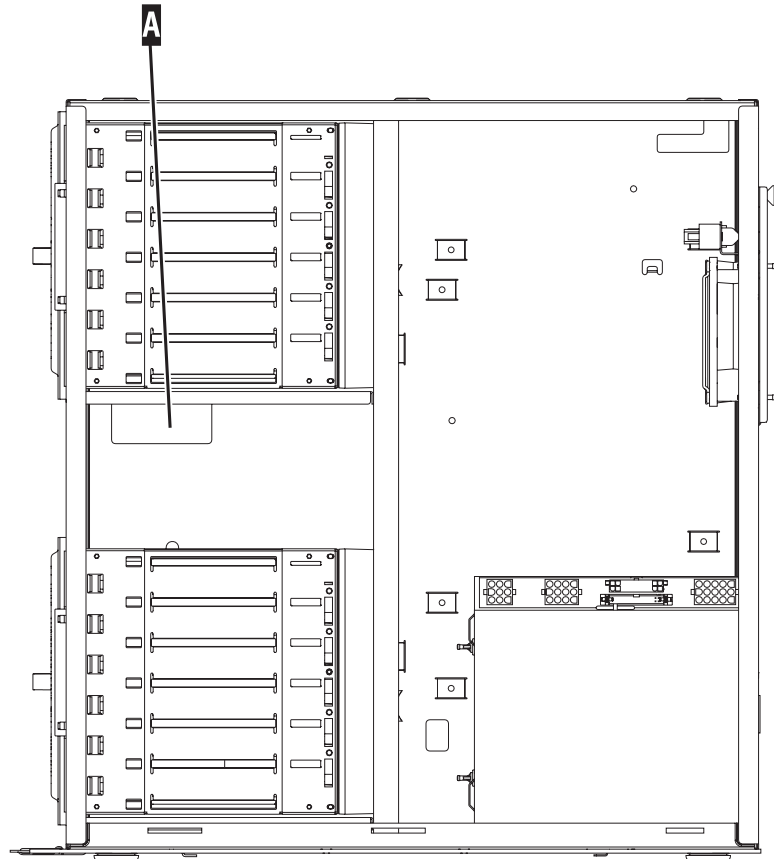
RZAQ2553-1

- __ 31. **A** 磁気ディスク機構データ・ケーブルを、システム装置内の 2757、2763、2782、2748、4778、5705、または 9767 カードに接続します。



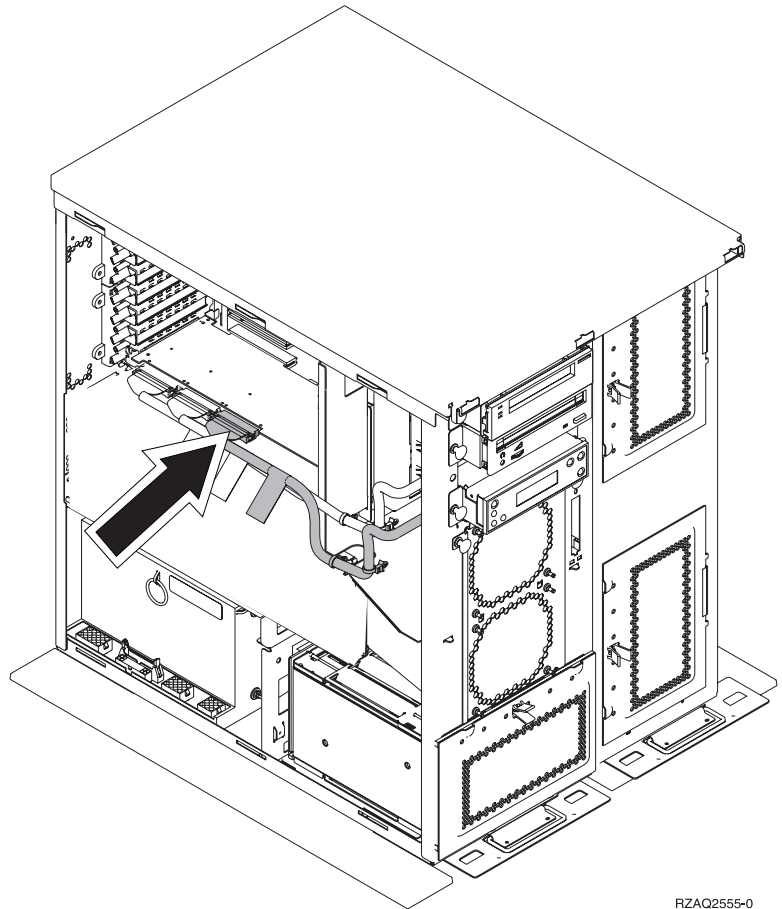
- __ 32. **G** デバッグ・ケーブル (部品番号 P24L1883) を、システム装置バックプレーンから取り外します。
- __ 33. 拡張機構に付属するケーブル **H1** (部品番号 P04N5595) を、直前のステップでバックプレーンからデバッグ・ケーブルを取り外した場所に接続します。
- __ 34. **G** を **H2** に接続します。
- __ 35. **C** (拡張機構から出ている) を **H3** に接続します。
- __ 36. **F** からプラグを取り外し、廃棄します。
- __ 37. **D** (拡張機構から出ている) と **E** を接続します。
- __ 38. 拡張機構の上面の位置に 2 つ目の磁気ディスク機構格納装置が取り付けられていますか？
- __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: 以下の作業を行います。
 - __ a. 追加の磁気ディスク機構データ・ケーブルを、磁気ディスク機構格納装置の背面に接続します。

- __ b. 開口部 **A** を通して、磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、すでにあるデータ・ケーブルの経路に沿って配線します。



RZAQ2558-0

- __ c. 磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、2757、2763、2782、2748、4778、5705、または 9767 カード上で次に使用できるポートに接続します。




RZAQ2555-0

- __ 39. 新しい上面カバーを取り付けます。カバーを後ろから前へスライドさせます (背面に 3 つのねじ)。
- __ 40. 右側面カバーを取り付けます (2 つのつまみねじ)。
- __ 41. システム装置にあった左側面カバーを、拡張機構の左側面に取り付けます (2 つのねじ)。
- __ 42. 新しい前面カバーを取り付けます。
- __ 43. 7104 または 7116 拡張機構の背面に電源コードを接続します。
- __ 44. 新しい背面カバーがある場合は、それを取り付けます。
- __ 45. 270 または 810 装置の古いカバーは、今後の使用に備えて保管しておくか、地域の規則に従って廃棄するか、リサイクル施設がある場合はリサイクルします。
- __ 46. 9 ページの『取り付け時にシステムの電源がオフになっている場合』に進んで、磁気ディスク機構を取り付けます。

7123 または 7136 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け

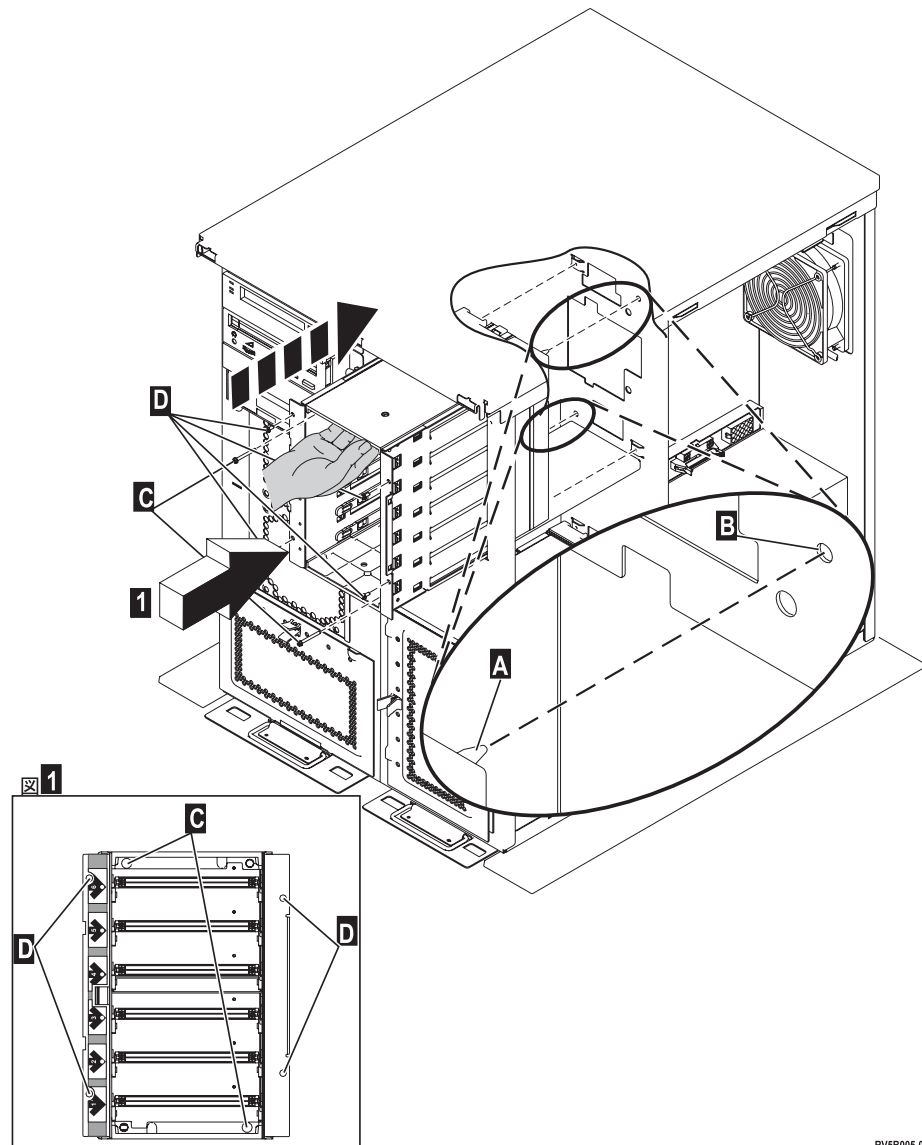
7123 ディスク機構格納装置は、270 システム拡張機構内の磁気ディスク機構側に取り付けます。7136 ディスク機構格納装置は、810 システム拡張機構内の磁気ディスク機構側に取り付けます。

- 1. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- 2. すべてのジョブが完了したら、コマンド行に `pwrdownsys *immed` と入力して、実行キーを押します。
- 3. ディスク機構の電源が完全に遮断されたら、システム装置に接続されているすべての PC および装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- 4. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- 5. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 6. 前面カバーを取り外します。19 ページの『270、810、820、または 5075 の前面カバー』を参照してください。
- 7. 背面カバーを取り外します。59 ページの『側面および背面カバーの取り外し』を参照してください。
- 8. 右側面カバーを取り外します (2 つのつまみねじ)。
- 9. 左側面カバーを取り外します (2 つのつまみねじ)。
- 10. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。フォイルの粘着側を、装置のフレームの未塗装面に取り付けます。

注:

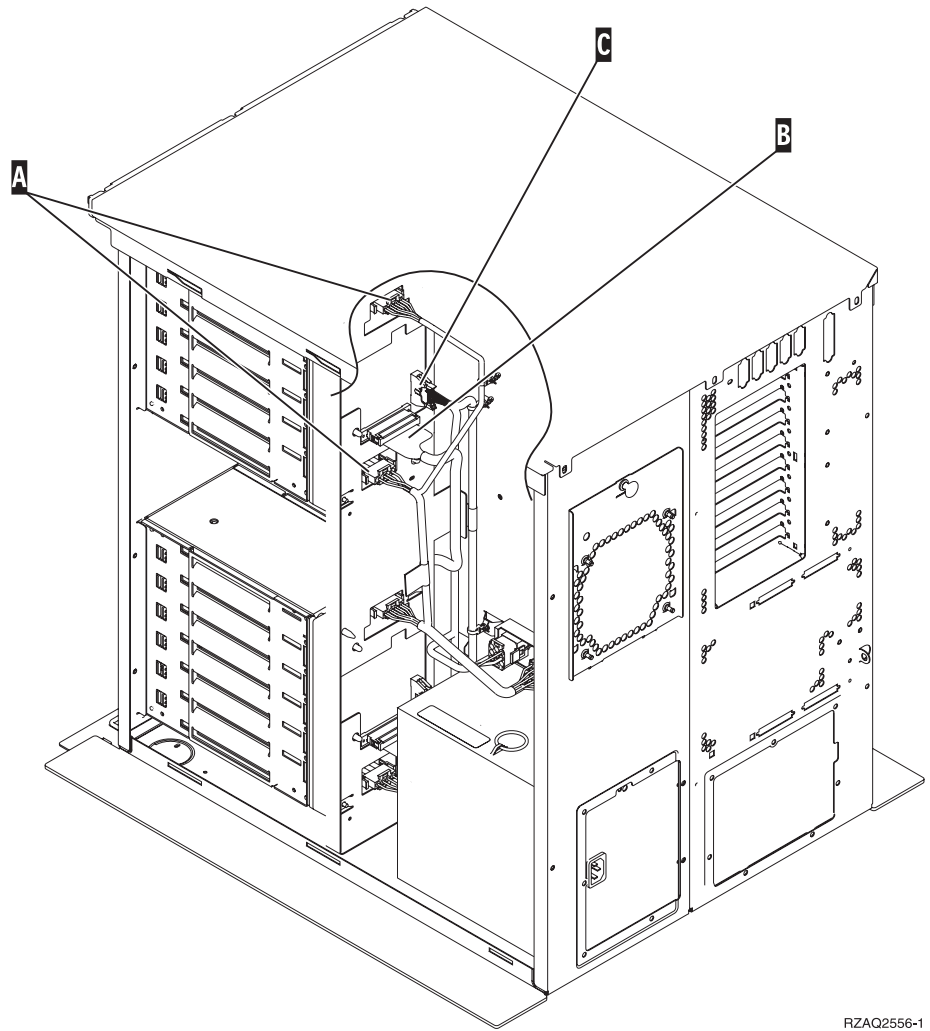
- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールを取り除きます。
 - c. 銅フォイルを、システム装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- 11. 既存の磁気ディスク機構格納装置の上にある金属面を固定している、4 つのねじを取り外します。4 つのねじは保管しておきます。これらのねじは、新しい磁気ディスク機構格納装置を固定するために使用します。
 - 12. 新しい磁気ディスク機構格納装置が入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。
 - 13. 磁気ディスク機構の位置 6 が一番上の位置になるようにして、磁気ディスク機構格納装置を持ちます。

__ 14. 磁気ディスク機構格納装置を開口部の中にスライドさせて入れます。



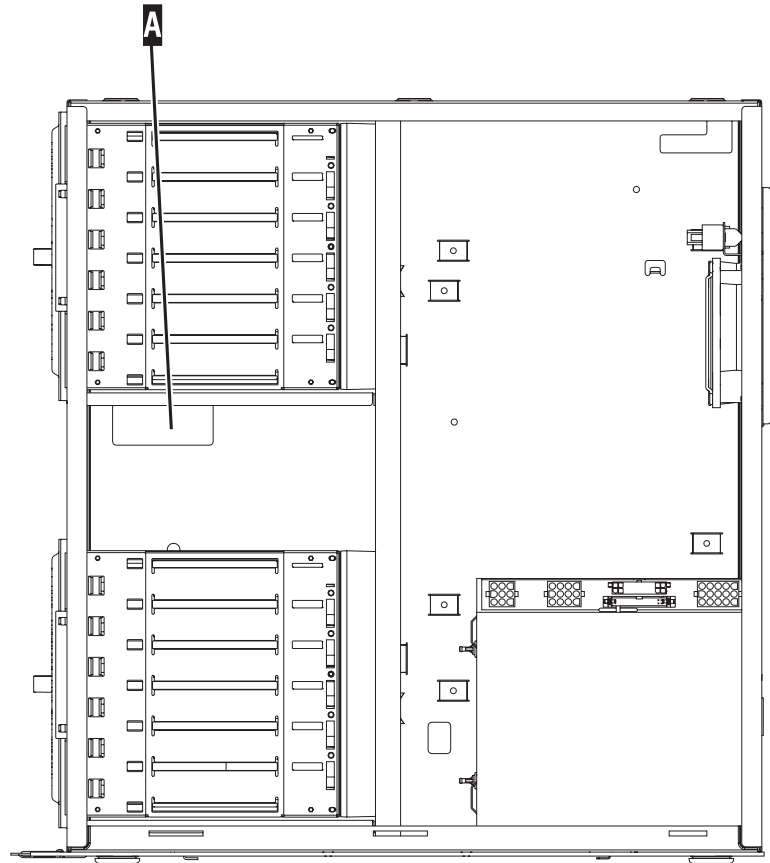
RV5B005-0

- __ 15. 磁気ディスク機構格納装置のガイド・ピン **A** を、拡張機構の **B** と合わせます。
- __ 16. 磁気ディスク機構格納装置を拡張機構に固定する、4つのねじ **D** の取り付けを始めます (ただし、まだ締めません)。
- __ 17. 磁気ディスク機構格納装置の内部に、2つのねじ **C** を取り付けます。磁気ディスク機構格納装置に付属の工具を使用して、図 **1** に示すようにこれら2つのねじを取り付けます。
- __ 18. 4つのねじ **D** を完全に締めます。
- __ 19. **A** 電源ケーブル、**B** 磁気ディスク機構データ・ケーブル (部品番号 04N2273)、および **C** 電源制御ケーブルを、磁気ディスク機構格納装置に接続します。



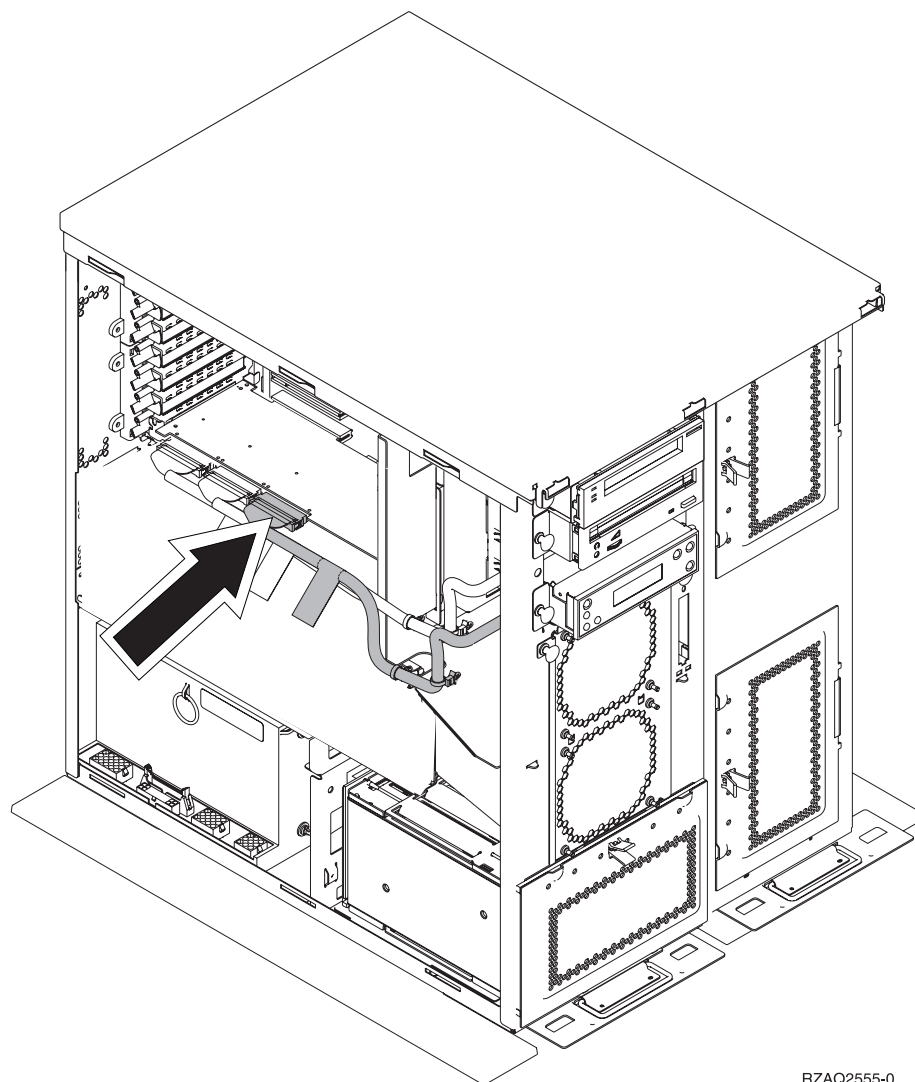
RZAQ2556-1

- __ 20. 開口部 **A** を通して、磁気ディスク機構格納装置のデータ・ケーブルを、すでにあるデータ・ケーブルの経路に沿って配線します。



RZAQ2558-0

- __ 21. 磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、2757、2763、2782、2748、4778、または 9767 カード上で次に使用できるポートに接続します。




RZAQ2555-0

- __ 22. 右側面カバーを取り付けます (2 つのつまみねじ)。
- __ 23. 左側面カバーを取り付けます (2 つのつまみねじ)。
- __ 24. 前面カバーを取り付けます。
- __ 25. 背面カバーを取り付けます。
- __ 26. 9 ページの『取り付け時にシステムの電源がオフになっている場合』に進んで、磁気ディスク機構を取り付けます。

7124 または 7127 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け

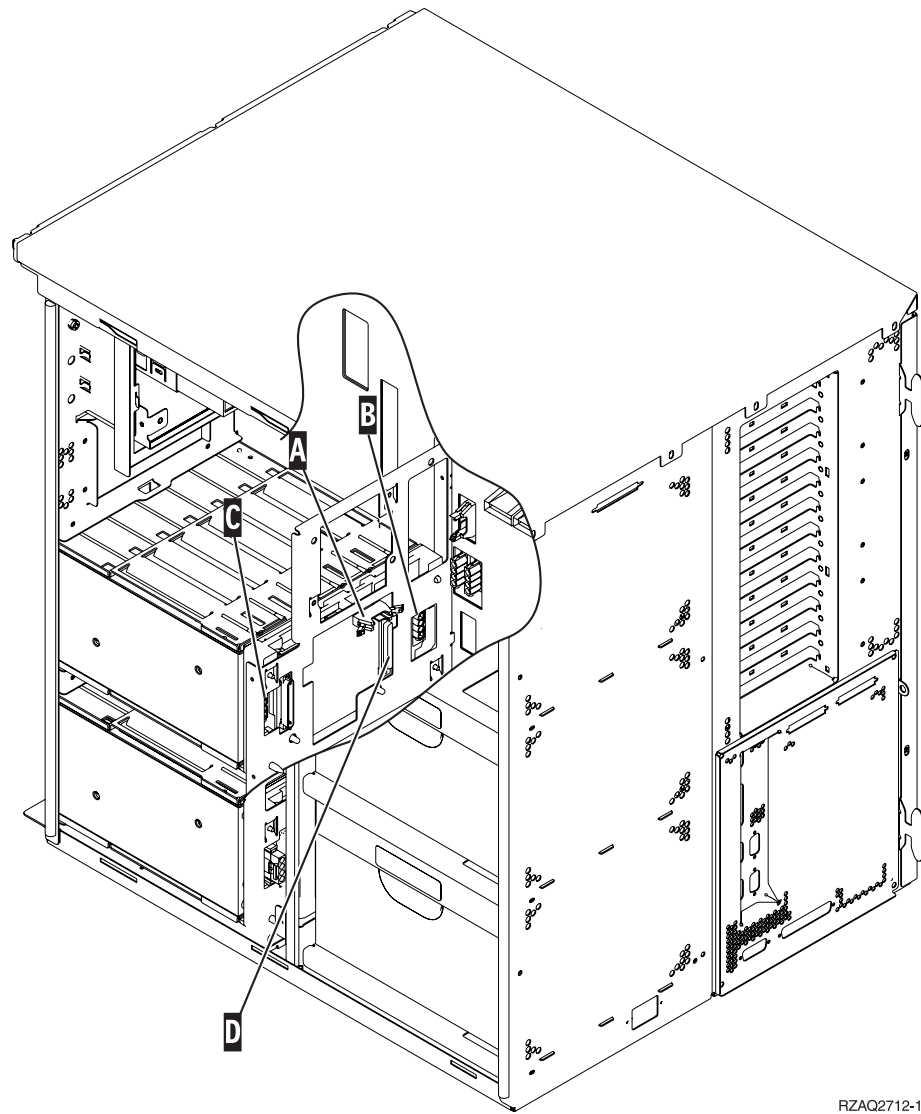
7127 磁気ディスク機構格納装置は、820 システム装置の上側の位置に取り付けます。7124 ディスク機構格納装置は、825 システム装置の上側の 2 つの位置に取り付けます。

- 1. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- 2. すべてのジョブが完了したら、iSeries コマンド行で `pwrdownsys *immed` と入力して、実行キーを押します。
- 3. iSeries の電源が完全に遮断されたら、システム装置に接続されているすべての PC および装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- 4. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- 5. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 6. 前面カバーを取り外すか、または開きます。19 ページの『前面カバーの開口と取り外し』を参照してください。
- 7. 背面カバーがある場合は、それを取り付けます。59 ページの『側面および背面カバーの取り外し』を参照してください。
- 8. 左側面カバーを取り外します。
- 9. 右側面カバーを取り外します。
- 10. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。 フォイルの粘着側を、装置のフレームの未塗装面に取り付けます。

注:

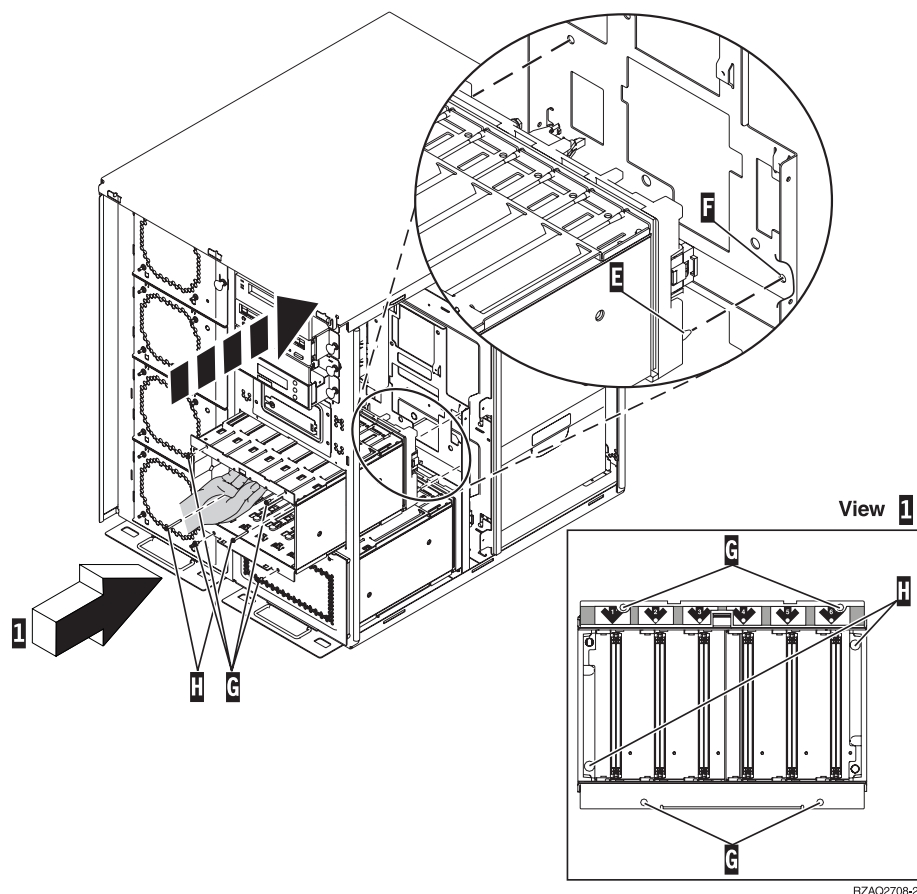
- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールを取り除きます。
 - c. 銅フォイルを、システム装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- 11. 既存の磁気ディスク機構格納装置の上にある金属面を固定している、4 つのねじを取り外します。4 つのねじは保管しておきます。これらのねじは、磁気ディスク機構格納装置を固定するために使用します。
 - 12. 新しい磁気ディスク機構格納装置が入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。
 - 13. 制御ケーブル (部品番号 24L1761) を位置 **A** に取り付け、電源ケーブル (部品番号 04N2920) を位置 **B** と **C** に取り付け、データ・ケーブル (部品番号 04N2273) を磁気ディスク機構格納装置の背面にあるコネクタ **D**

に取り付けます。



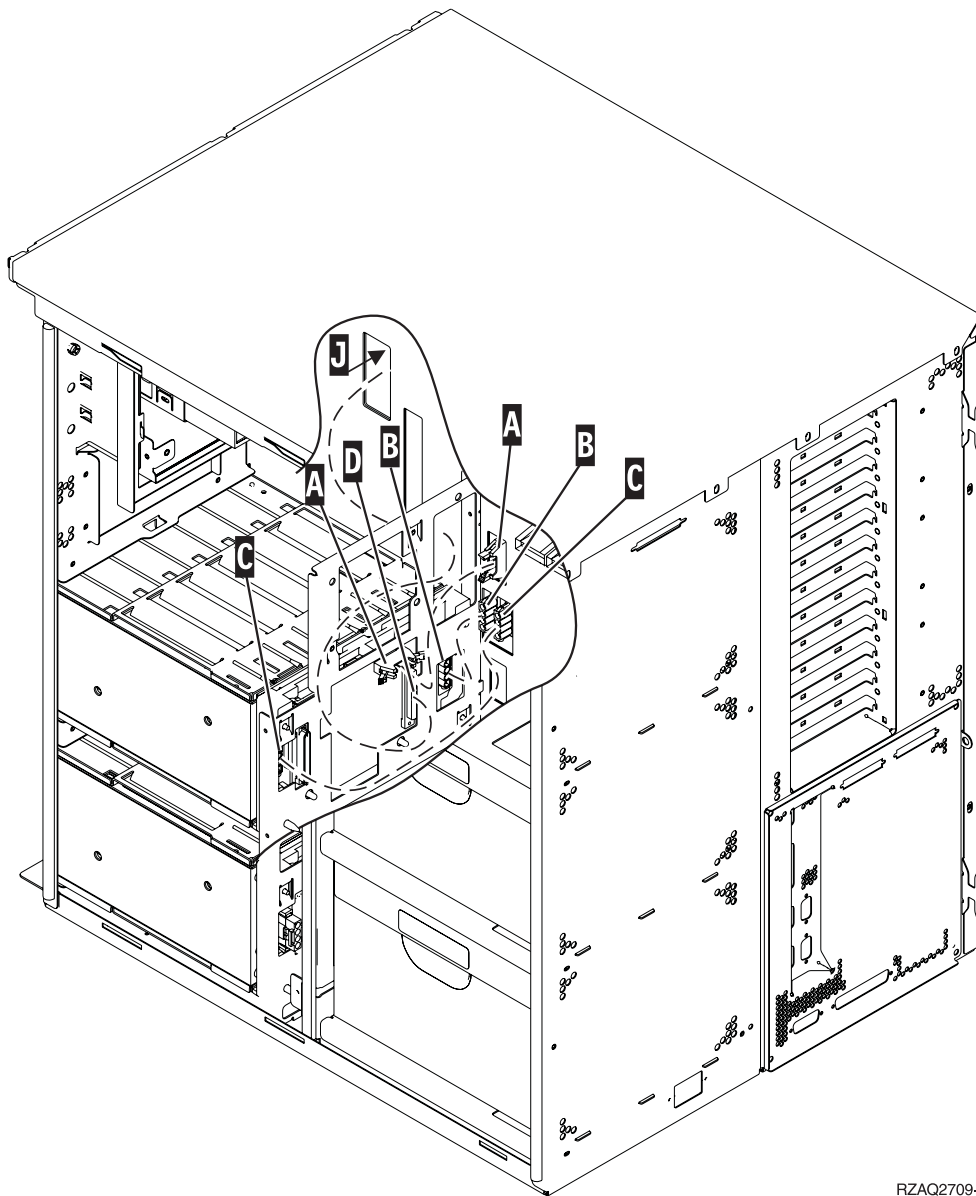
RZAQ2712-1

- __ 14. 磁気ディスク機構格納装置を開口部の中にスライドさせて入れ、ケーブルをフレームの開口部に通します。



RZAQ2708-2

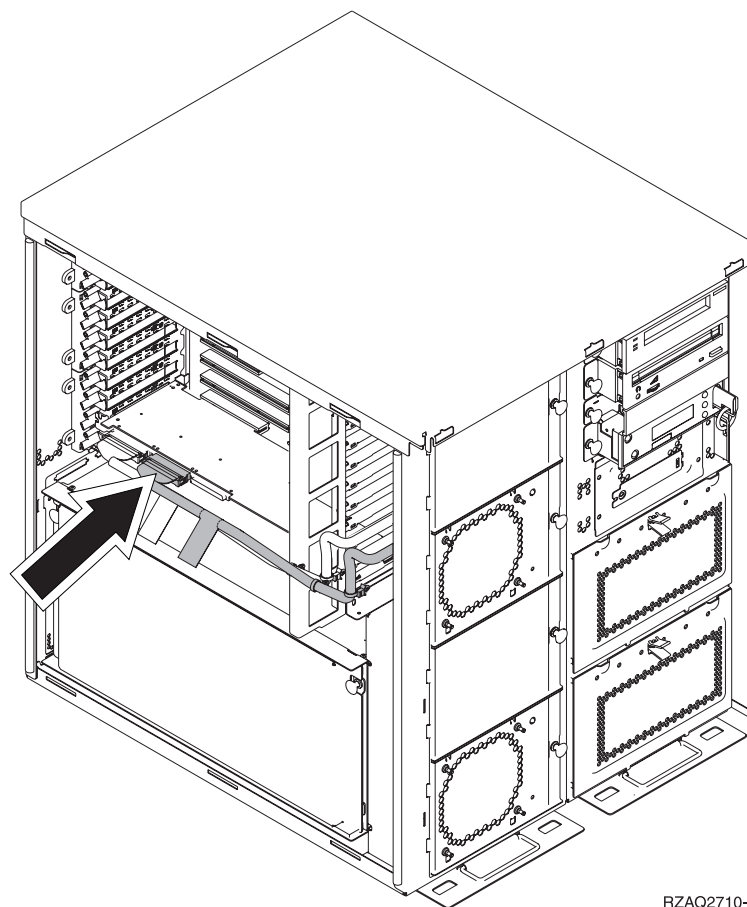
- __ 15. 56 ページの図 4 に示すように、システム装置にケーブルを接続します。 **A** は **A** に、 **B** は **B** に、 **C** は **C** に接続します。
- __ 16. 磁気ディスク機構格納装置のガイド・ピン **E** を、システム装置の **F** と合わせます。
- __ 17. 磁気ディスク機構格納装置をシステム装置に固定する、4 つのねじ **G** の取り付けを始めます (ただし、まだ締めません)。
- __ 18. 2 つのねじ **H** を取り付けます。磁気ディスク機構格納装置に付属の工具を使用して、図 **1** に示すように 2 つのねじ **H** を取り付けます。
- __ 19. 4 つのねじ **G** を完全に締めます。



FZAQ2709-1

図4. システム装置へのケーブルの接続

- 20. フレームの開口部 **J** を通して、磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、すでにある磁気ディスク機構のデータ・ケーブルの経路に沿って配線します。
- 21. 磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、2748、2757、2763、2782、4778、または 5705 カード上で次に使用できるポートに接続します。

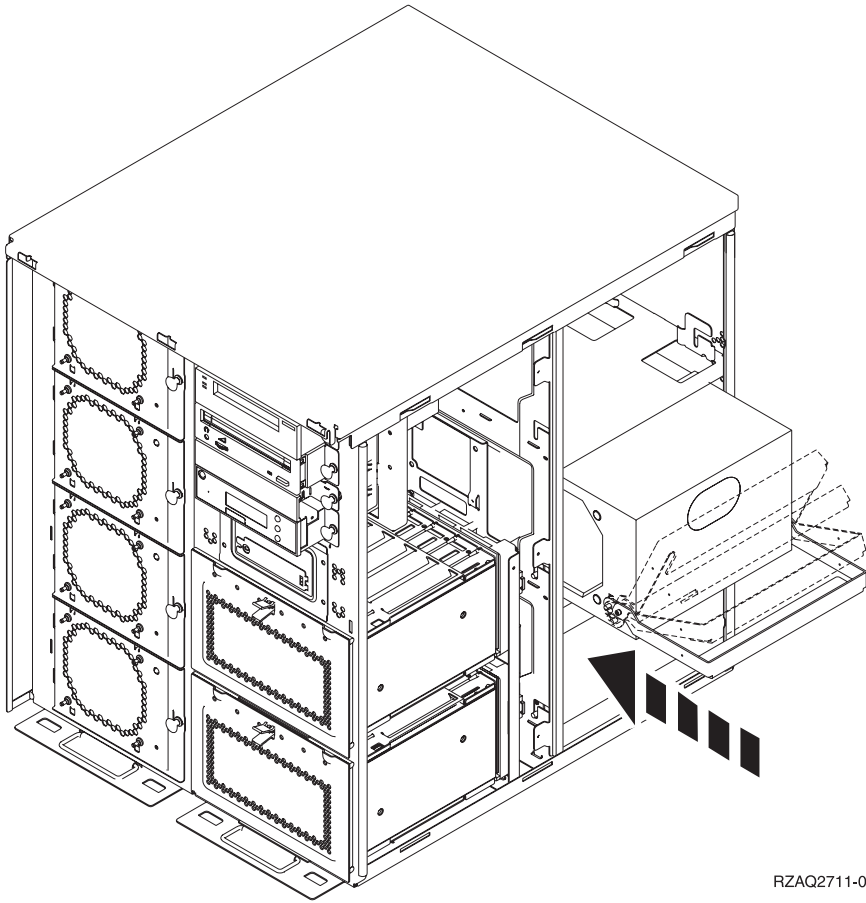


RZAQ2710-0

__ 22. 『電源機構の取り付け』に進みます。

電源機構の取り付け

- __ 1. 電源機構は次の使用可能領域に取り付けます。 58 ページの図 5 を参照してください。
- __ 2. ボタンを引き出して、電源機構のフィラー・プレートを取り外します。
- __ 3. 電源機構のハンドルを引き下げます。



RZAQ2711-0

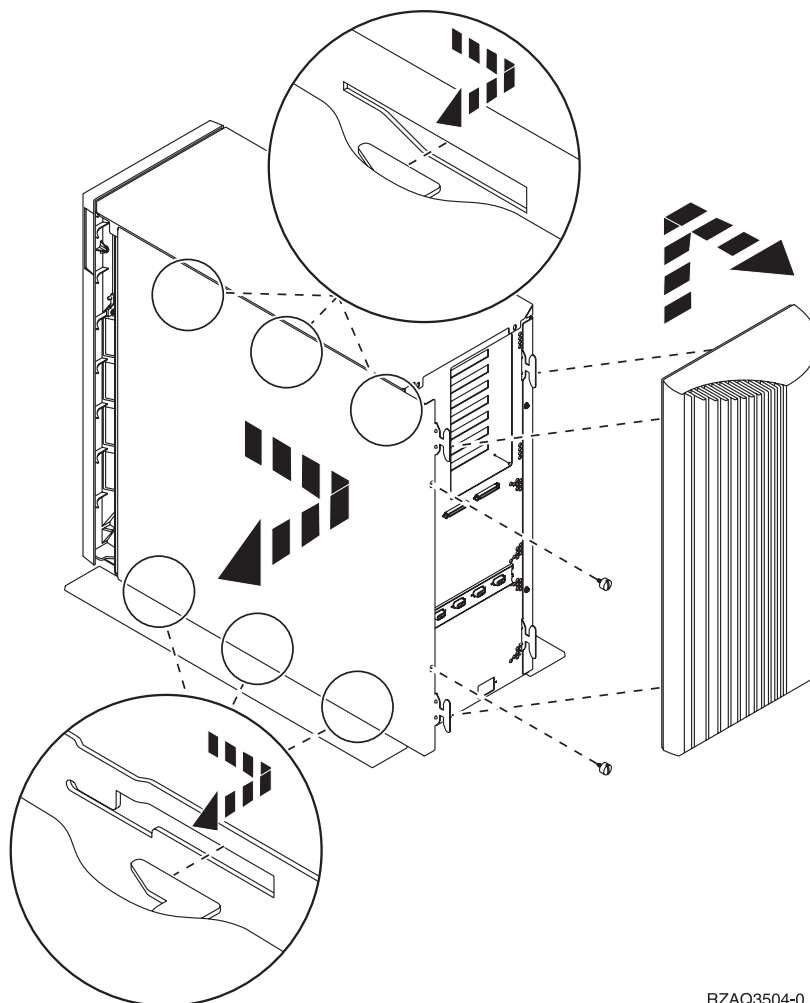
図 5. 電源機構の取り付け

- 4. 電源機構をシステム装置に挿入します。
- 5. ハンドルを上を持ち上げて、所定の位置にロックします。
- 6. 両側面のカバーを取り付けます。
- 7. 背面カバーを取り付けます。
- 8. 磁気ディスク機構格納装置に磁気ディスク機構を取り付けるには、9 ページの『取り付け時にシステムの電源がオフになっている場合』に進みます。

側面および背面カバーの取り外し

- __ 1. 背面カバーがある場合はその下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- __ 2. つまみねじを取り外し、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバーを取り外します。
- __ 3. ねじを取り外して、左側面カバーを取り外します。
- __ 4. カバーを引き出します。

 これらのステップについてビデオをご覧ください。



RZAQ3504-0



Printed in Japan